

SECURE VS Cloud ユーザーマニュアル

2024 年 10 月 1 日発行

1 目次

2 概要	5
2.1 改訂履歴	5
2.2 このドキュメントの記号とステートメント	5
3 システム要件	6
4 VORTEX サービスの開始	7
4.1 VORTEX アカウントの作成とデバイスの追加(ウェブポータル経由)	7
4.2 VORTEX アカウントの作成とデバイスの追加 (モバイルアプリから)	13
4.3 VIVOTEK NVR デバイスの追加	20
5 VORTEX サービスに参加する	22
5.1 ウェブポータルから VORTEX アカウントを追加	22
5.2 招待による VORTEX アカウントの追加	22
6 アカウントの管理	26
7 表示	27
8 デバイス	30
8.1 システム > VORTEX カメラのデバイス情報	31
8.2 システム > VIVOTEK NVR のデバイス情報	32
8.3 システム > VORTEX カメラと VIVOTEK NVR のファームウェア・アップデート	32
8.4 システム > リモートサポート	33
8.5 システム > インストール	33
8.6 システム > ネットワークスピーカー	33
8.7 システム > NVR 設定	34
8.8 メディア > 画像設定	34
8.9 メディア > IMAGE FOCUS ADJUSTMENT	35
8.10 メディア > プライバシーマスク	35
8.11 メディア > オーディオ設定	35
8.12 メディア > RTSP	35
8.13 検出 > オーディオ検出	36
8.14 検出 > 不正操作検出	36
8.15 検出 > 映像解析	36
8.16 DI/DO > デジタル入力	37
8.17 DI/DO > デジタル出力	38
8.18 クラウドバックアップ > クラウドバックアップ	38

9	VORTEX カメラと VORTEX CONNECT PRO のユーザー	39
10	VORTEX CONNECT のユーザー	40
11	ディープ検索	41
11.1	ディープ検索の使い方	42
11.2	ディープ検索を使用して人を検索する.....	42
11.3	ディープ検索を使用して車両を検索する.....	44
11.4	再検索の利用.....	46
12	プロフィール 検索.....	48
12.1	プロフィールの作成	48
12.1.1	プロフィール検索を使って特定の人物を検索する	51
13	メッセージセンター	52
13.1	デバイスイベント	52
13.1.1	デバイス.....	52
13.1.2	イベントタイプ	52
13.1.3	時間枠.....	52
13.2	システムイベント	55
13.2.1	デバイス.....	55
13.2.2	イベントタイプ	55
13.2.3	時間枠.....	55
13.3	ACCESS EVENT	57
13.3.1	Access control point.....	57
13.3.2	イベントタイプ	57
13.3.3	Associated group.....	57
13.3.4	時間枠.....	58
14	アーカイブ	59
14.1	アーカイブされたビデオクリップの検索.....	60
15	システム	63
15.1	組織詳細	63
15.2	アラーム管理.....	64
15.3	AUDIT LOG	67
15.4	自動ファームウェア更新	67
15.5	リセラー管理.....	68
15.6	アクセス制御.....	68
15.7	SINGLE SIGN-ON CONFIGURATION	69

15.8 ORGANIZATION SECURITY	70
16 ライセンス	70
17 ライセンスが必要な機能	72
17.1 ネットワークスピーカー	72
17.1.1 デバイスの検索と設定	72

2 概要

AIで強化され、クラウドを活用した監視システムとしてSECURE VS Cloudをお選びいただき、ありがとうございます。SECURE VS Cloudの使用について質問がある場合は、このユーザーマニュアルを参照してください。また、詳細については、ウェブ上のVORTEXのFAQをご覧ください。

2.1 改訂履歴

Ver.1.0.0 : 初期リリース

2.2 このドキュメントの記号とステートメント



情報: 不便な状況や問題のある状況を防ぐのに役立つ可能性のある重要なメッセージやアドバイスを提供します。



注: 通知は、機能に関連するガイダンスまたはアドバイスを提供します。



ヒント: ヒントとは、インストール、機能、またはプロセスを強化または促進するのに役立つ有用な情報、またはプロセスのことです。



警告: または 重要: これらの記述は、装置またはお客様にとって危険または有害な状況を示します。



電氣的危険: これらの記述は、オペレーターに高電圧の電氣的危険が生じる可能性がある場合に表示されます。

3 システム要件

SECURE VS Cloud を使用する前に、次のアイテムを準備してください。

- Chrome または Edge を実行している PC またはラップトップ
- ルーター
- VORTEXカメラ

または

- VORTEXアプリ(App StoreまたはGoogle Playから)
- VORTEXカメラ



インターネット接続も必須です。インターネット接続がないと、VORTEXカメラとVORTEXサービスはVORTEXサーバーと通信できないため、ビデオストレージ、リアルタイム監視用のライブビュー、またはサービスが提供するその他の機能などの重要な機能を使用できなくなります。

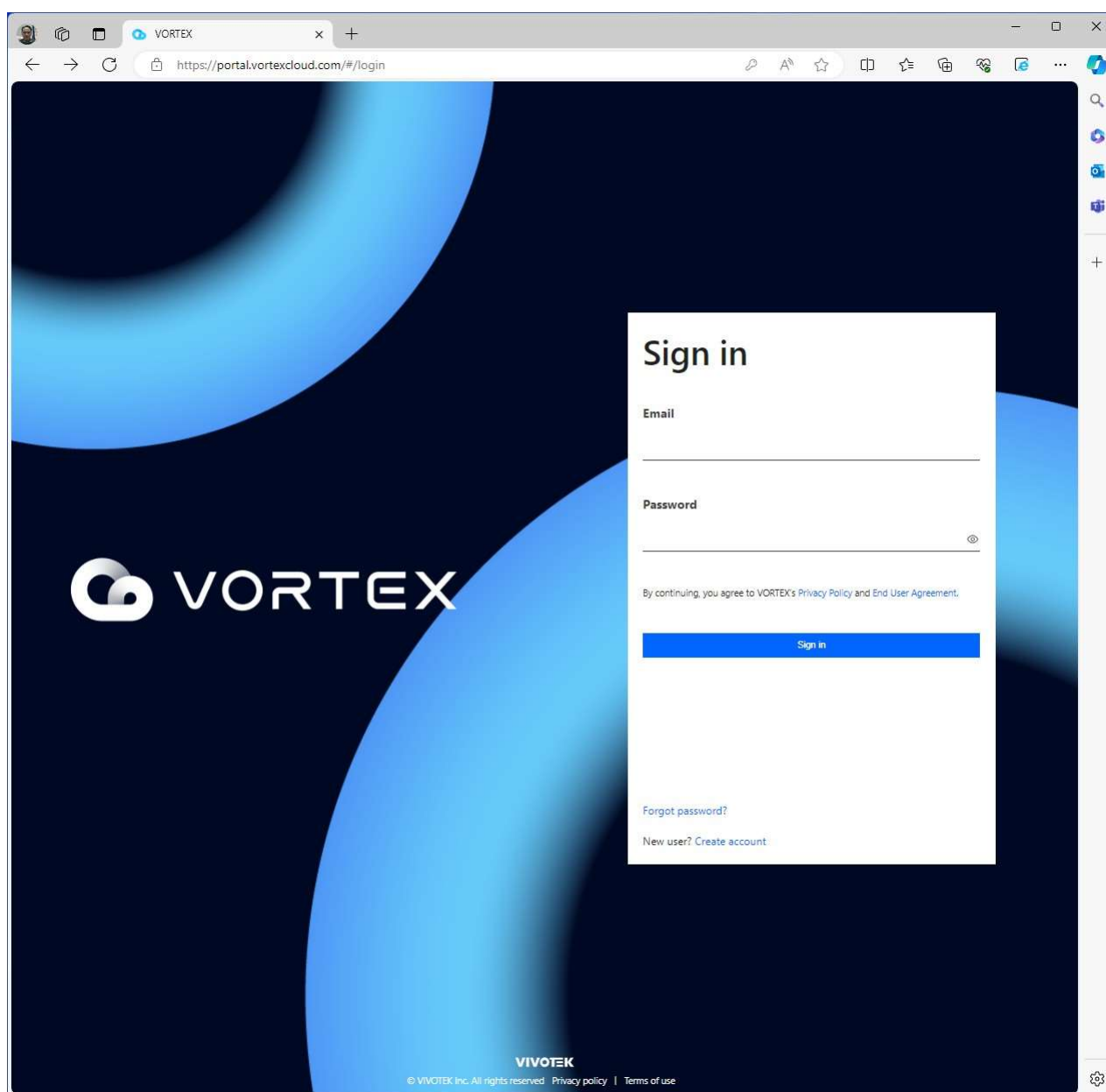


4 SECURE VS Cloud サービスの開始

SECURE VS Cloud を初めて利用する場合、VORTEX サービス・オーナーとして VORTEX サービスを開始する必要があります。そのためには、以下の2つの方法のいずれかを使用します。

4.1 VORTEX アカウントの作成とデバイスの追加(ウェブポータル経由)

1. <https://portal.vortexcloud.com/#/login> にアクセスし、[アカウントを作成] をクリックします。



2.メールアドレスを入力し、ルールに従ってパスワードを設定します。次に、アカウントの作成をクリックします。

Create account

Email

Password

Your password must have:

- ✓ 8-64 characters with no space
- ✓ At least one uppercase alphabetic character
- ✓ At least one lowercase alphabetic character
- ✓ One numeric character

Confirm password

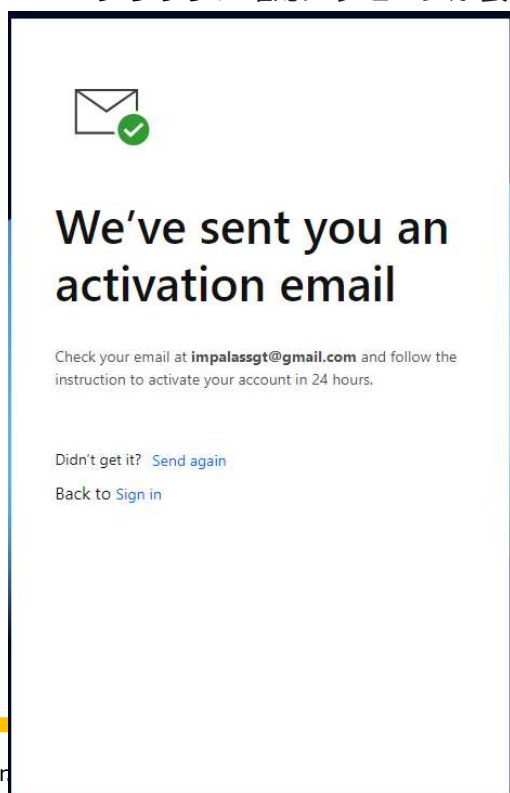
By continuing, you agree to VORTEX's [Privacy Policy](#) and [End User Agreement](#).

Create account

Have account? [Sign in](#)

3.VORTEXシステムからアクティベーションメールが送信されます。ステップ2で
使用したEメールの受信トレイで、Verify Emailをクリックします。

4.ブラウザに確認メッセージが表示されます。



Welcome to VIVOTEK Vortex Inbox x

no-reply@vortexcloud.com
to ▼

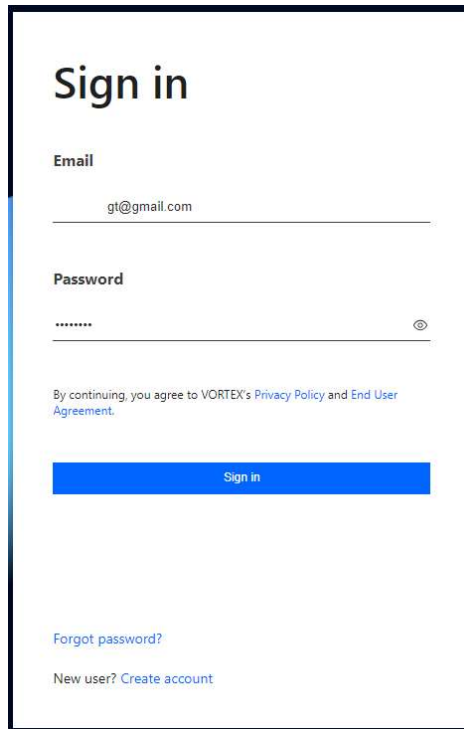
Please activate your VORTEX account by clicking on [Verify Email](#) within 24 hours after signing up. Once your account is activated, you'll be able to start enjoying VORTEX service. If you did not create a VORTEX account, please ignore this email.

Regards,
VIVOTEK VORTEX Team

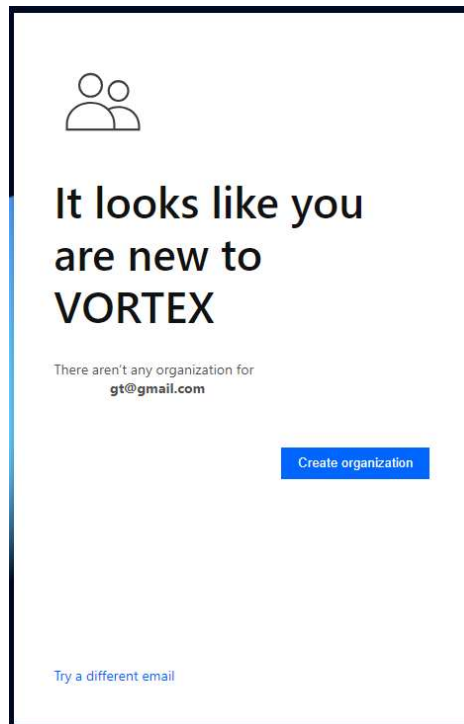
Reply
Forward
😊

Your registration has been confirmed!

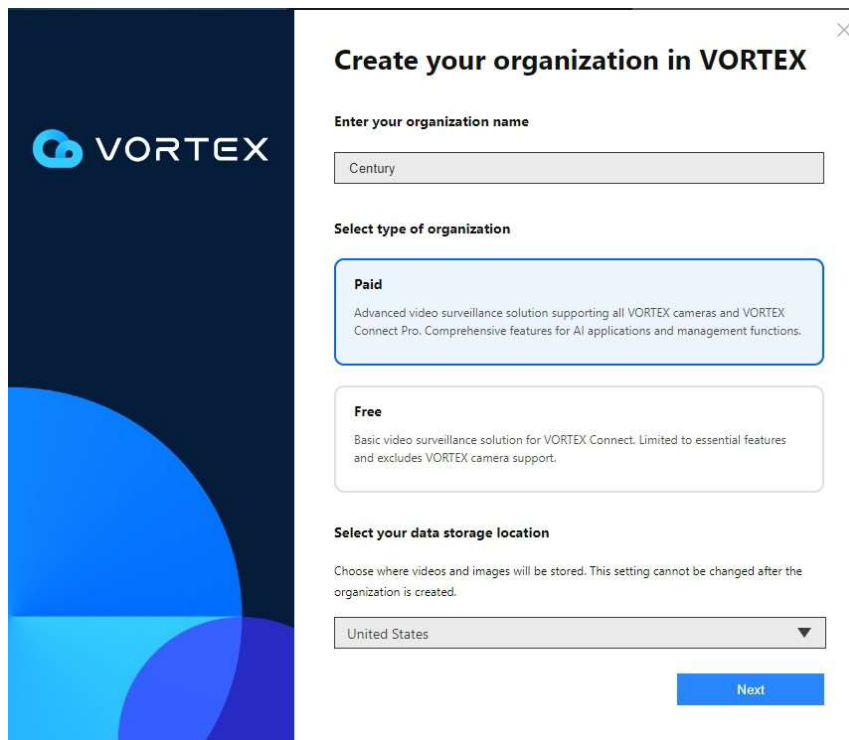
5. VORTEXのサインインページに戻り、必要に応じてEメールアドレスとパスワードを入力します。その後、サインインをクリックします。



6.VORTEXに登録したばかりで、どの組織にも所属していないため、以下のような組織（サービス）の作成を促すメッセージが表示されます。



7.組織名を入力し、地域を選択し、組織タイプ（有料または無料）を選択し、「次へ」をクリックします。





Create your organization in VORTEX

Enter your organization name

Select type of organization

Paid

Advanced video surveillance solution supporting all VORTEX cameras and VORTEX Connect Pro. Comprehensive features for AI applications and management functions.

Free

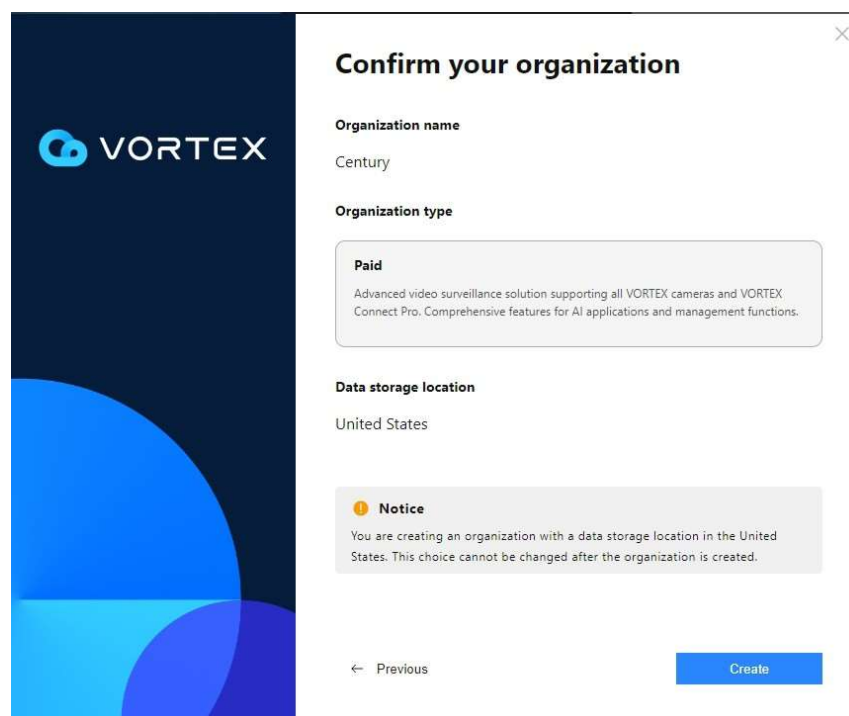
Basic video surveillance solution for VORTEX Connect. Limited to essential features and excludes VORTEX camera support.

Select your data storage location

Choose where videos and images will be stored. This setting cannot be changed after the organization is created.

Next

8.入力した情報が正しいかどうかを確認し、「作成」をクリックします。





Confirm your organization

Organization name

Century

Organization type

Paid

Advanced video surveillance solution supporting all VORTEX cameras and VORTEX Connect Pro. Comprehensive features for AI applications and management functions.

Data storage location

United States

Notice

You are creating an organization with a data storage location in the United States. This choice cannot be changed after the organization is created.

← Previous

Create

9.デバイスID（MACアドレス）およびその他の必要情報を入力して、組織で使用するデバイスの登録を開始します

Add a device

1. Enter the device ID

Enter the device ID to add the device to your organization. You can find a 12-digit code right below the QR Code on the device ID label on your device.



Device ID

2. Edit your device

Assign your device to a device group, name your device, and set up a time zone for your device based on its location. These configurations can also be made later in the device settings.

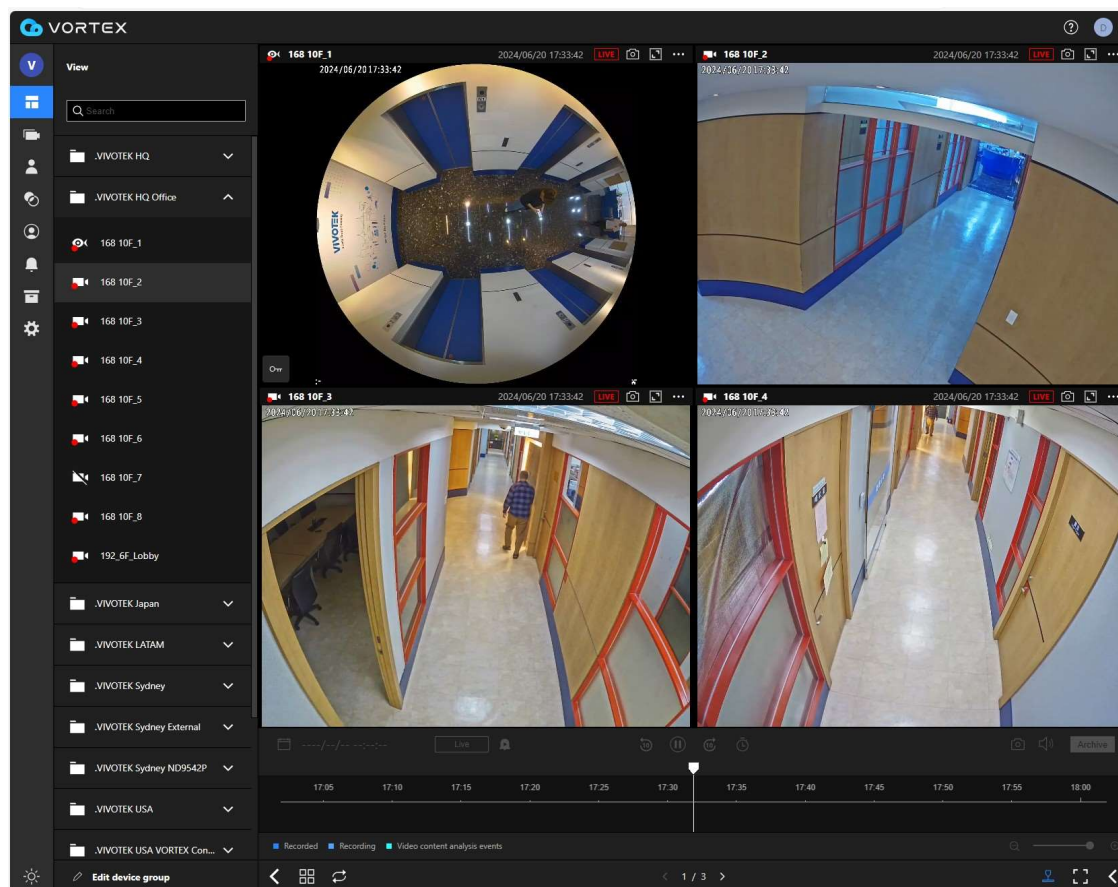
☐ Retain the original settings on the device

Device group

Device name

Time zone

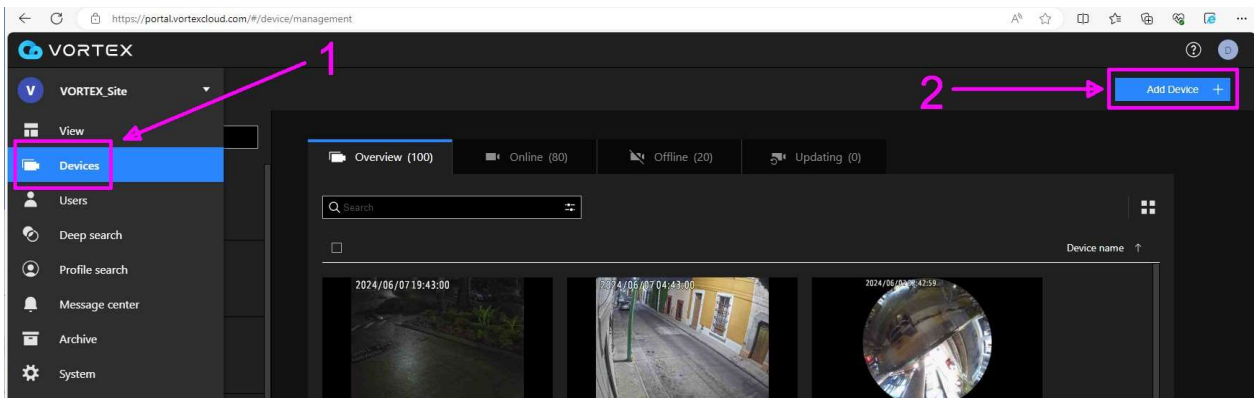
Add

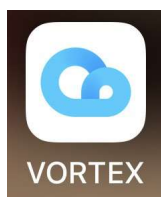


デバイス追加後の既存組織の例



「Devices (デバイス)」>ウェブポータル右上にある「Add device (デバイスの追加)」をクリックすれば、いつでもデバイスを追加できます。





4.2 VORTEX アカウントの作成とデバイスの追加（モバイルアプリから）

1. 以下のQRコードのいずれかをモバイルデバイスで読み取り、App StoreまたはGoogle PlayからVORTEXをインストールします。



2. アカウントの作成をタップし、組織オーナーのメールアドレスとパスワードを入力します。

1:47 4G 37

VORTEX

Email address

Password

[Forget password?](#)

By continuing, you agree to VORTEX's [Privacy Policy](#) and [End User Agreement](#).

Sign in

[Create account](#)

VIVOTEK

1:49 4G 37

VORTEX

Create account

Email

an@gmail.com

Password

Your password must have:

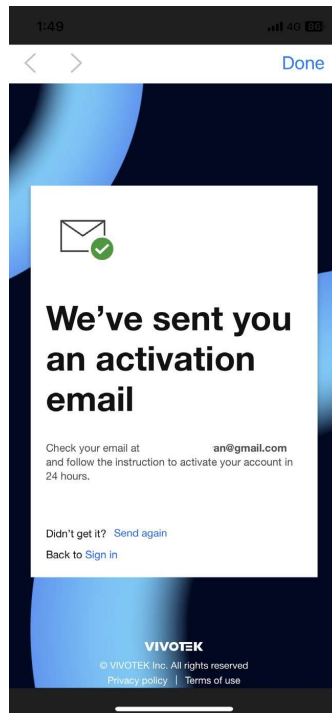
- 8-64 characters with no space
- At least one uppercase alphabetic character
- At least one lowercase alphabetic character
- One numeric character

Confirm password

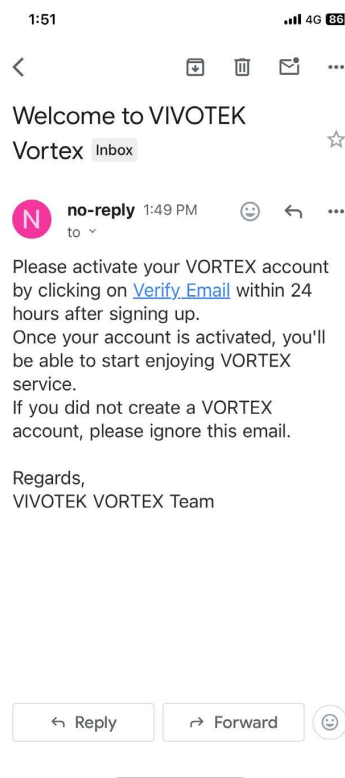
By continuing, you agree to VORTEX's [Privacy Policy](#) and [End User Agreement](#).

Create account

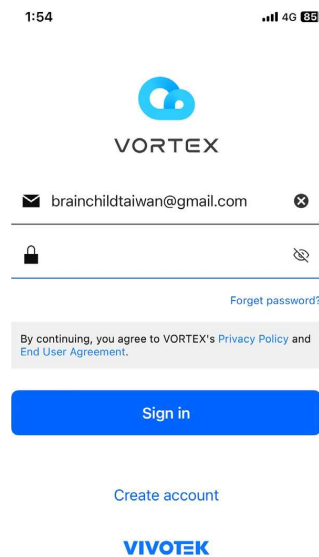
3.「アカウントを作成」をタップし、下に表示されるメッセージの指示に従ってください。



4.「Verify Email」をタップすると、確認メッセージがブラウザに表示されます。



5.VORTEXアプリに戻り、Eメールとパスワードを入力してサインインします。



1:54 4G 85

VORTEX

brainchildtaiwan@gmail.com

Forget password?

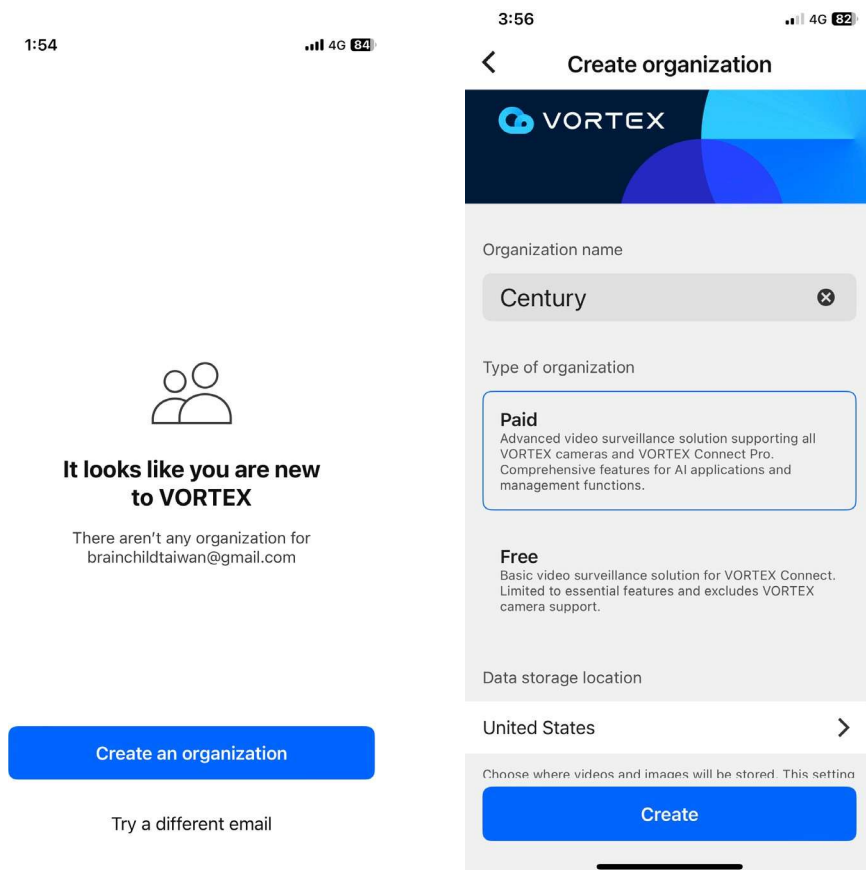
By continuing, you agree to VORTEX's [Privacy Policy](#) and [End User Agreement](#).

Sign in

Create account

VIVOTEK

6.[組織を作成] をタップし、組織の詳細を入力します。



1:54 4G 84

3:56 4G 82

< Create organization

VORTEX

Organization name

Century

Type of organization

Paid
Advanced video surveillance solution supporting all VORTEX cameras and VORTEX Connect Pro. Comprehensive features for AI applications and management functions.

Free
Basic video surveillance solution for VORTEX Connect. Limited to essential features and excludes VORTEX camera support.

Data storage location

United States

Choose where videos and images will be stored. This setting

Create

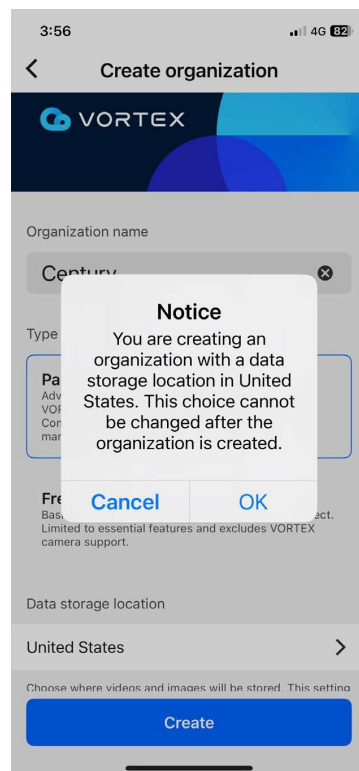
It looks like you are new to VORTEX

There aren't any organization for brainchildtaiwan@gmail.com

Create an organization

Try a different email

7.一度地域を選択してOKをタップすると、再度地域を変更することはできませんのでご注意ください。



8.必要に応じて「デバイスを追加」をタップします。

3:57 4G 82%



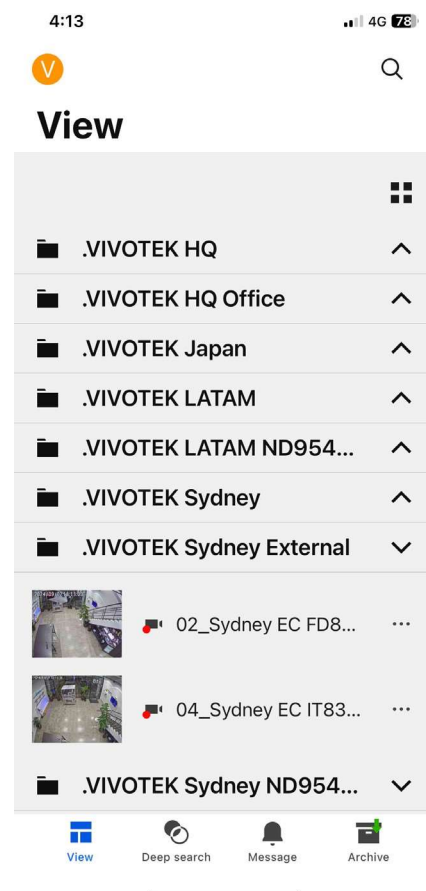
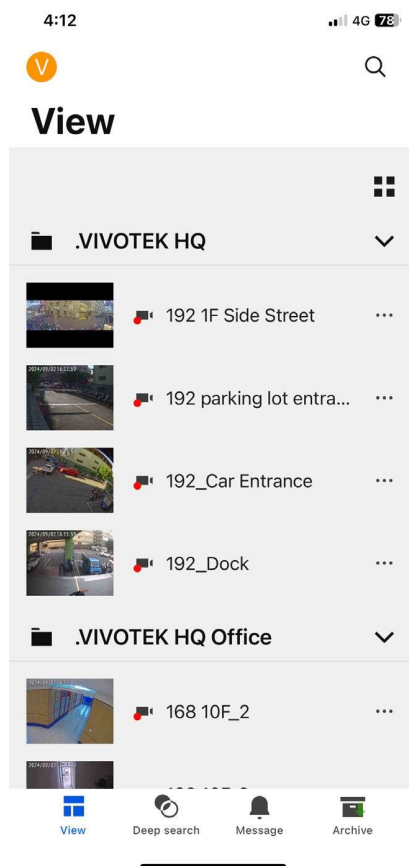
Ready to start?

Add devices and get started to experience the brand new VORTEX.

Add devices

Close

9.デバイスが組織に追加されると、以下のようにモバイルデバイスでカメラを表示できます。





モバイルデバイスを使用してデバイスを組織に追加する場合、デバイスIDを入力するだけでなく、デバイスのQRコードをスキャンすることもできます。



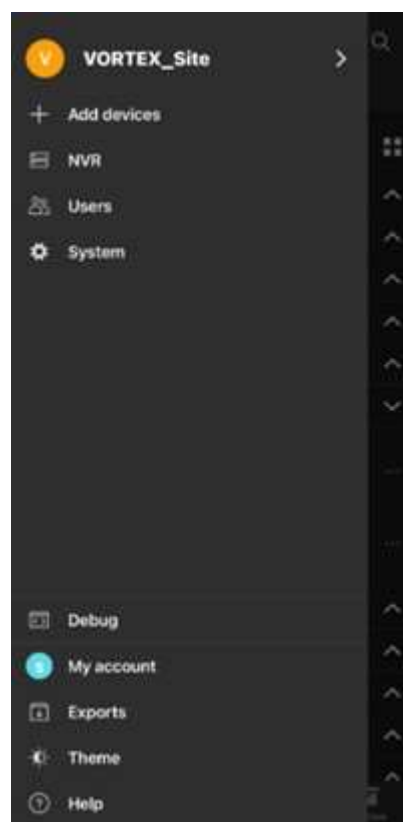
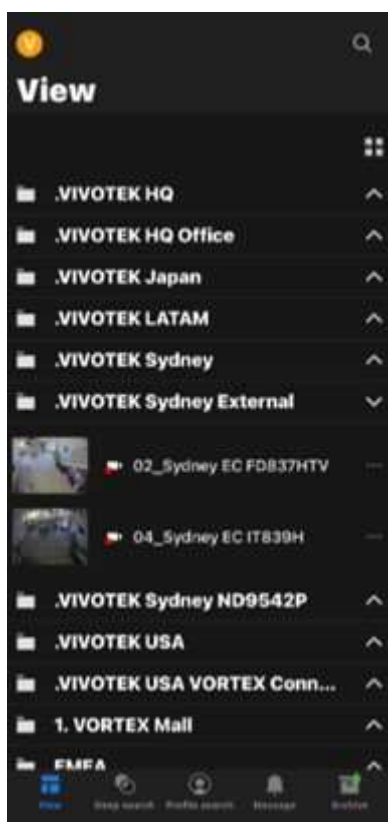
VIVOTEK の梱包箱に記載されたデバイス ID の例



VIVOTEK カメラ上のデバイス ID の例



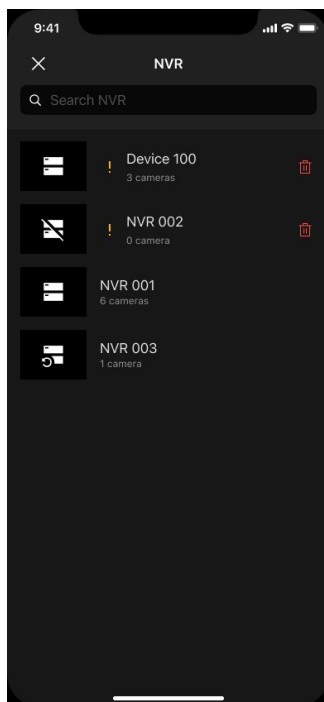
- デバイスIDはVIVOTEK NVRデバイス上にもあります。詳細は次のセクションを参照してください。
- QRコードをスキャンするだけでなく、手動でMACアドレスを入力してデバイスを追加することもできます。
- モバイルアプリの左上にある組織アイコン > + デバイスの追加をタップすることで、いつでもデバイスを追加することができます。



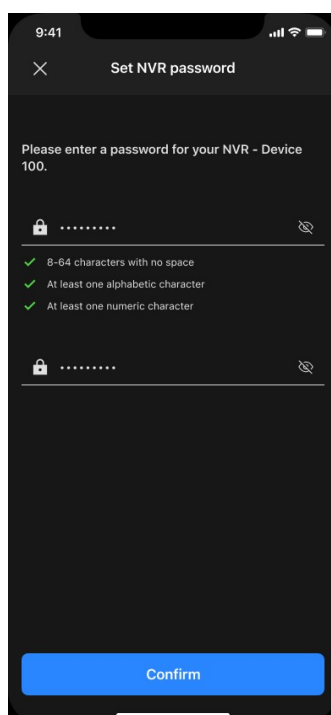
組織内のカメラのリセットボタンを押すと、カメラは組織から削除されます。すべてのカメラデータ（SDカード/クラウドビデオ）も削除されます。

4.3 VIVOTEK NVR デバイスの追加

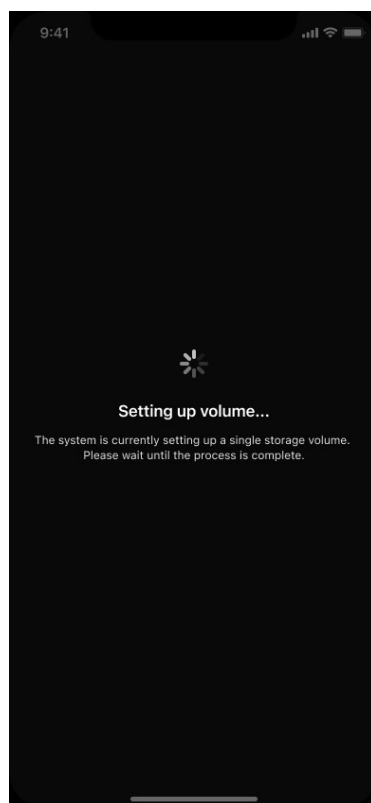
1. 組織アイコンをタップし、組織情報ページに移動します。
2. NVRアイコンをクリックして、NVRのステータスを確認します。
3. 感嘆符の付いたNVRデバイスをクリックします。



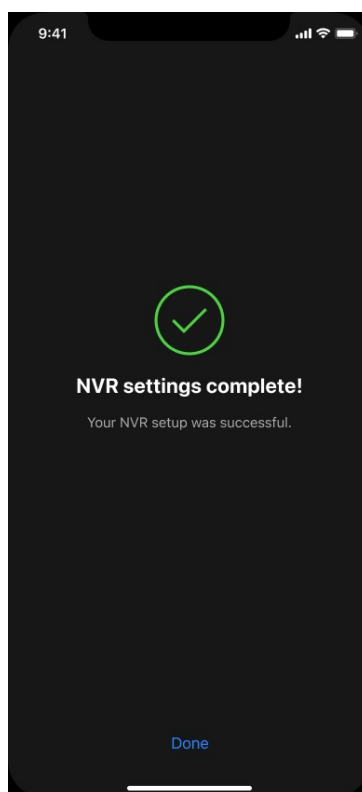
4. パスワードを入力してNVRのパスワードを設定します。



5. ボリュームのセットアップ処理が完了するまで待ちます。



6. ウィザードが終了します。



5 VORTEX サービスに参加する

ウェブポータルやアプリから直接アカウントを作成することで、VORTEXサービスに参加することができます。また、VORTEX組織のオーナーは、あなたをVORTEXサービスのユーザーとして招待することができます。

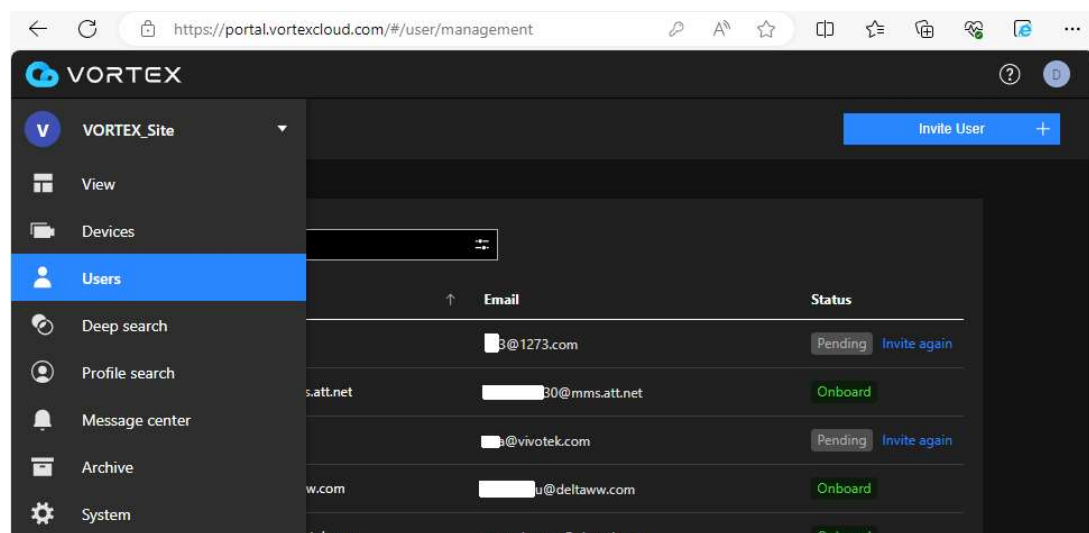
5.1 ウェブポータルから VORTEX アカウントを追加

1. <https://portal.vortexcloud.com/#/login> にアクセスし、アカウントの作成をクリックしてください。
2. 前述のウェブポータルの残りの手順に従ってください。

5.2 招待による VORTEX アカウントの追加

あなたがVORTEX組織のオーナーであれば、招待メールを送信して、あなたが指定したユーザー権限のユーザーとして組織に参加するよう招待することができます。

1. ユーザーページで、[ユーザーを招待]をクリックします。



2. ユーザーのメールアドレスを入力し、「招待」をクリックします。

3. Set up now（今すぐ設定）をクリックし、必要に応じてユーザーのアクセス権を決定します。

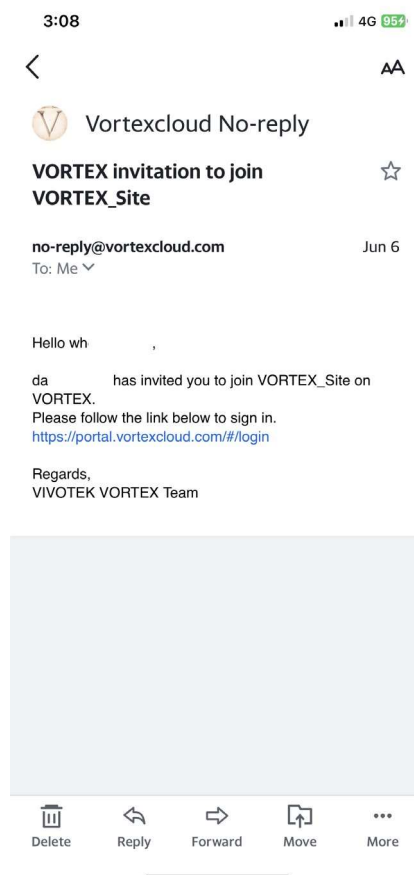
Group	Role and permission
☒ .USA	VIEWER
☒ .VIVOTEK HQ	VIEWER
☒ .VIVOTEK HQ Office	VIEWER
☐ .VIVOTEK Japan	VIEWER
☐ .VIVOTEK LATAM	VIEWER
☐ .VIVOTEK Melb ND9542P	VIEWER
☐ .VIVOTEK Sydney	VIEWER

下の表は、VORTEX のユーザータイプとそのアクセスレベルを示しています。この表を参照して、ユーザータイプおよびユーザーのアクセス権を設定してください。

Role	Management Access Level	Device Group Access Level	Feature Access Level
Owner 	Organizational group / device / user	Full access	SI Management transfer/delete organization Full access
Admin 	group / device / user	Full access	Full access
Supervisor 	device	Assigned only	Limited access
Viewer 	X	Assigned only	View only

- **Owner:** このロールは、すべての組織とユーザーの作成、管理、および全体的なシステム構成を含む、すべての設定にフルアクセスできます。
- **Admin:** このロールは、設定、ユーザー管理、およびシステム構成へのフルアクセスも可能ですが、Admin は組織全体を削除することはできません。
- **Supervisor:** このロールは、上位のロールによって設定された、デバイス構成への限定的なアクセス権を持ちます。グループやユーザーを制御することはできません。
- **Viewer:** このロールは、AdminやOwnerなどの上位のロールからアクセスを許可されたデバイスのみを表示することができます。

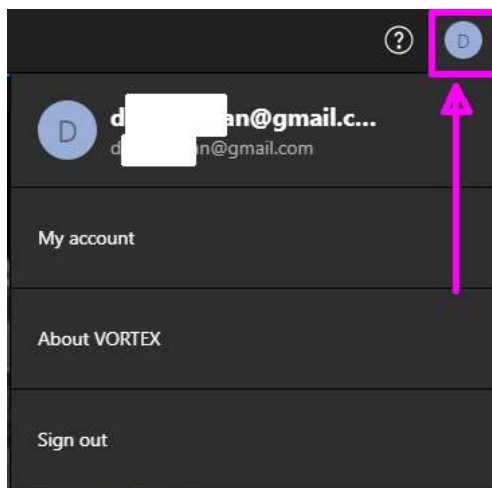
4. 一方、メールの受信者には、以下のような招待メールが届くはずですが。リンクをクリックし、VORTEXにサインインしてください。



モバイルアプリではユーザー管理ができません。そのため、モバイルアプリからユーザーを招待することはできません。

6 アカウントの管理

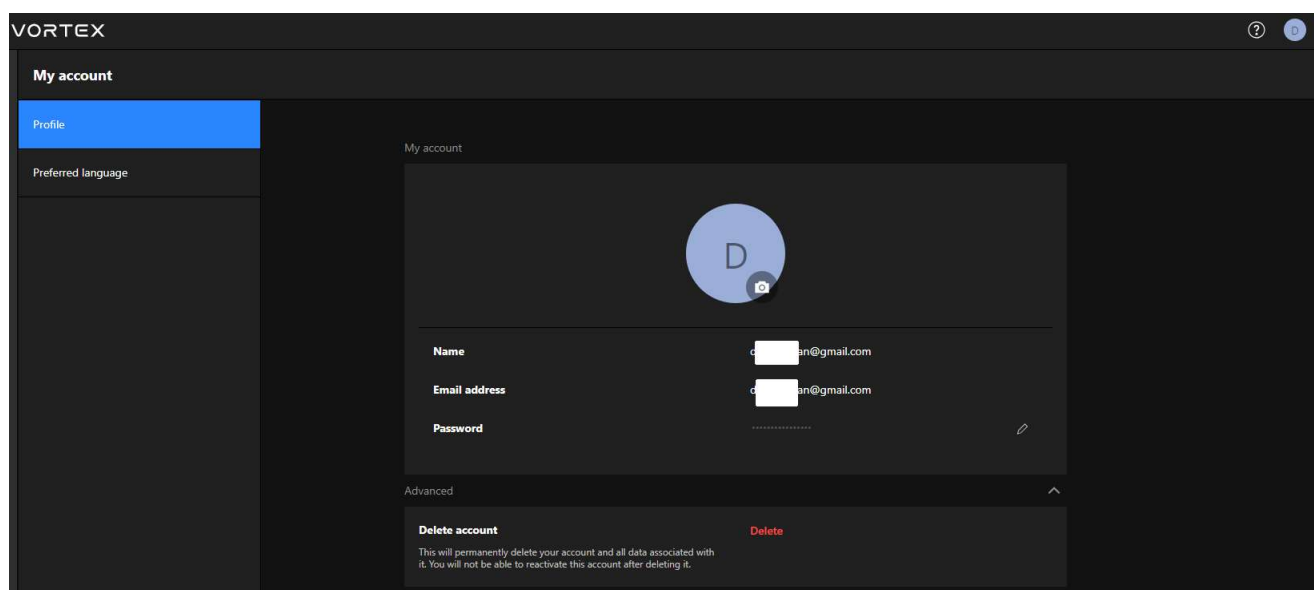
ウェブポータルを使用している場合、ワークスペースの右上隅に個人アイコンがあります（下図の例）。それをクリックすると、以下の4つの項目が表示されます。



メールアドレスの頭文字: 円の中の英字はメールアドレスの 1 文字目を示しています。

マイアカウント:

- プロフィールタブでは、パスワードを変更したり、組織からアカウントを削除することができます。
- 優先言語タブでは、ソフトウェアの表示言語を変更できます。

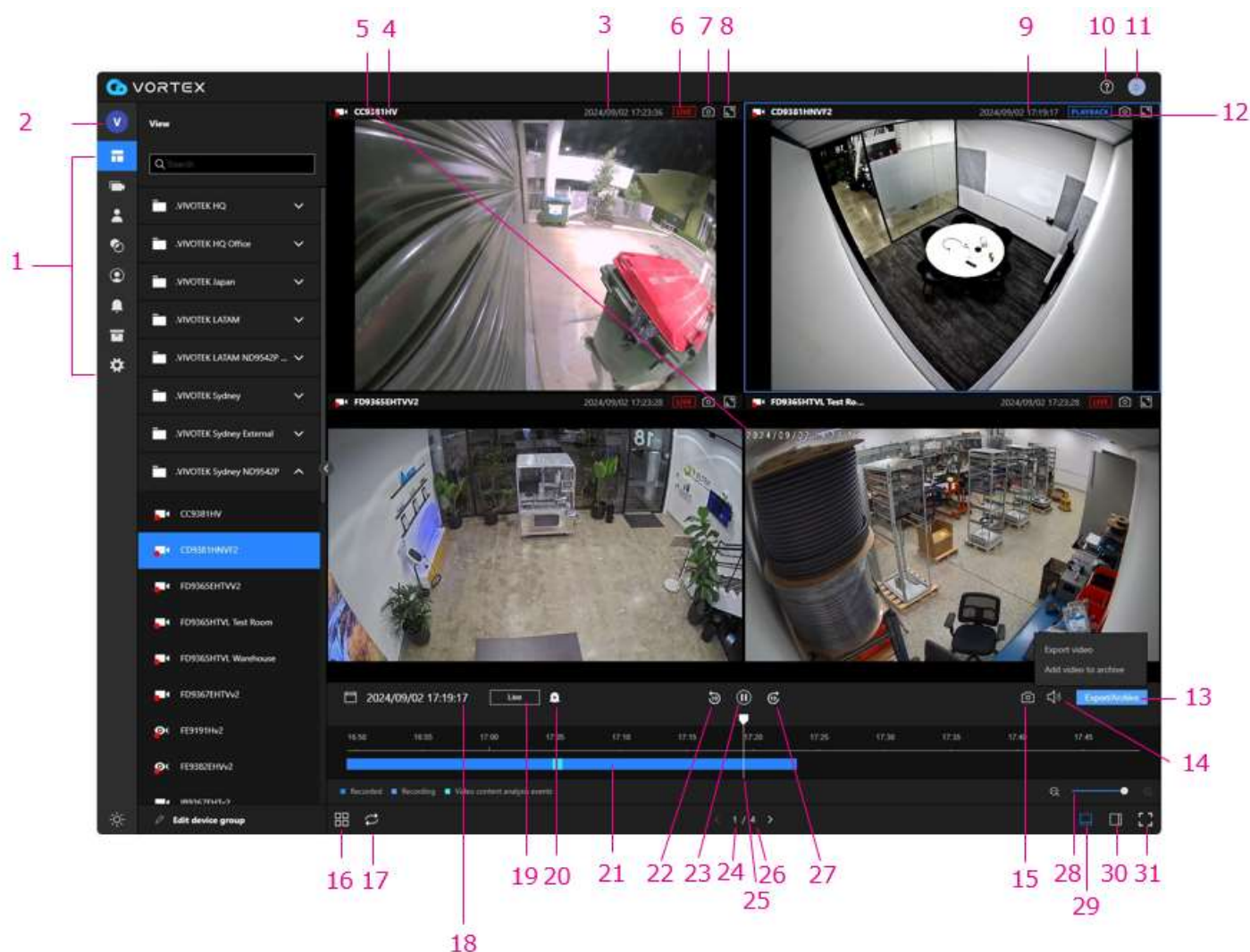


VORTEXについて：プライバシーポリシー、利用規約、ソフトウェアのバージョン番号が表示されます。

サインアウト：ここでシステムからログオフすることができます。

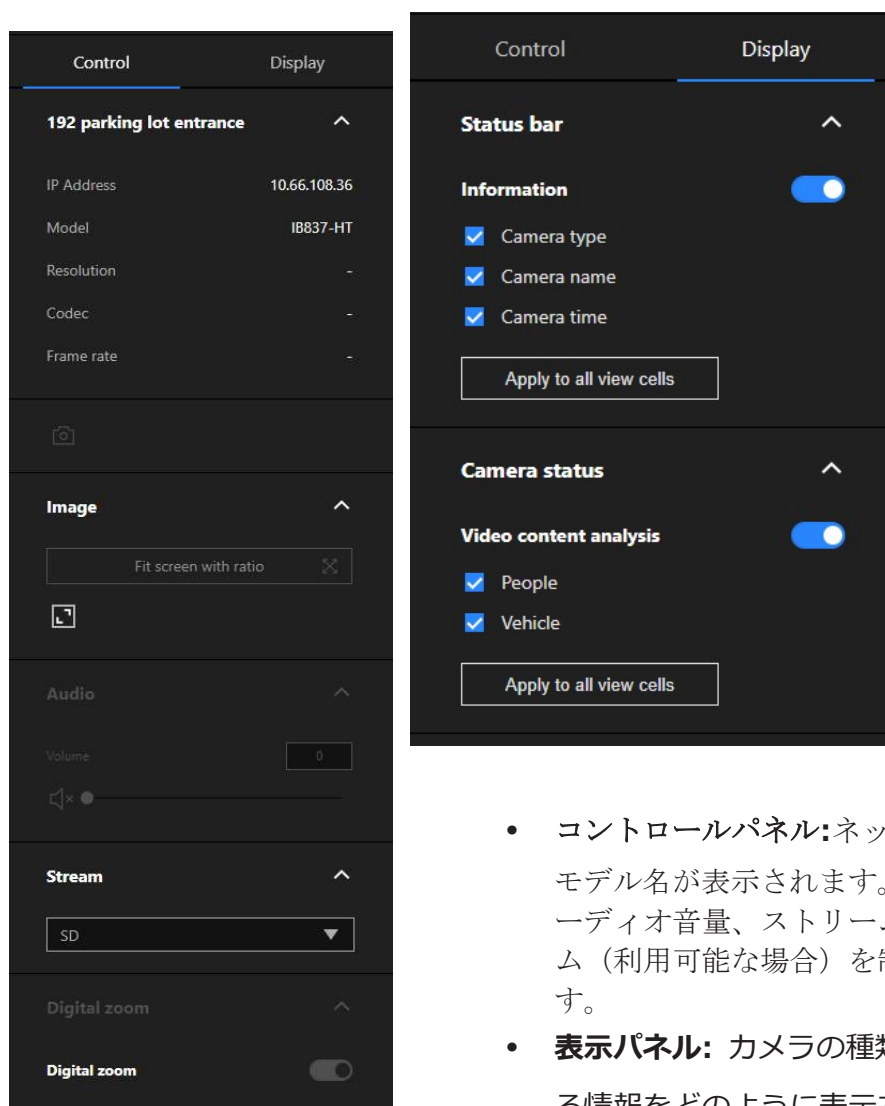
7 表示

VORTEXのライブビュー機能は、接続されているすべてのカメラにリアルタイムでアクセスできます。指定したグループをクリックするだけで、カメラのライブ映像を見ることができます。



1. サイドメニュー： 様々なツールオプションを提供します。
2. 組織名： 現在利用中の組織名が表示されます。
3. タイムスタンプ： ビデオの現地時間を表示します。
4. ビデオのタイトル： ビデオの名称を表示します。
5. 日付と時刻： カメラが設置されている地域の現在の日付と時刻が表示されます。
6. LIVE： カメラからストリーミングされている現在のリアルタイム映像を表示します。
7. スナップショット： 現在のビデオフレームの静止画をキャプチャし、写真として保存します。
8. トグル表示： シングルセル・ビューとフルセル・ビューを切り替えます。
9. 現在の時刻が表示されます。
10. ヘルプ： オンラインチュートリアルやFAQに移動したり、VORTEX開発チームにフィードバックやコメントを送信できます。
11. アカウント設定： パスワードの変更、アカウントの削除、プライバシーポリシーと利用規約の表示が行えます。
12. PLAYBACK： 録画したビデオセグメントを表示します。
13. エクスポート／アーカイブ： アーカイブ機能は重要なイベントに便利です。クリックするだけで、特定の映像時間をクラウドアーカイブに直接保存できます。エクスポート機能は、NVR を使用している場合にのみ使用できます。
14. 音量調節： 音声の音量を調整します。
15. スナップショットを撮ります。
16. ビューセルレイアウト： 画面上のビデオセルの配置を変更します。
17. カラーセル表示の切り替え： ビデオセルの表示を順番にオン/オフします。
18. タイムスタンプ： 録画したビデオセグメントのタイムスタンプを表示します。
19. ライブ（白）： 現在のライブビューに戻ります。
20. イベントのみ表示： タイムライン上のイベントのみを表示します。
21. 録画したビデオセグメントを表示し、ドラッグで再生位置を変更できます。
22. 早戻し： 10秒前のビデオのタイムスタンプに早戻しします。
23. 再生/一時停止： ビデオ再生を再生または一時停止します。

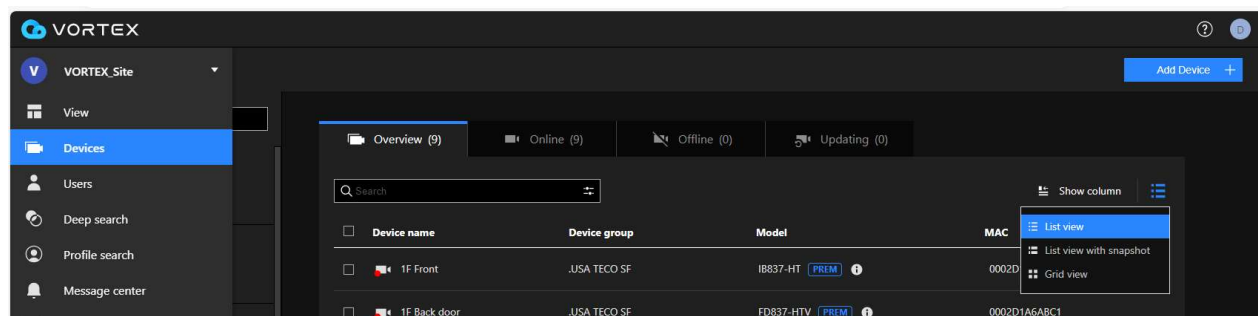
24. 現在のレイアウトで前のページに移動します。
25. 再生：現在の再生ポイント。
26. 現在のレイアウトで次のページに移動します。
27. 早送り:10秒後のビデオのタイムスタンプに早送りします。
28. タイムラインの拡大／縮小を行います。
29. タイムラインパネルの表示/非表示を行います。
30. コントロールパネルの表示／非表示を行います。
(コントロールパネルと表示パネルは下図のとおりです。)
31. フルスクリーン表示にします。(Escキーで終了します)



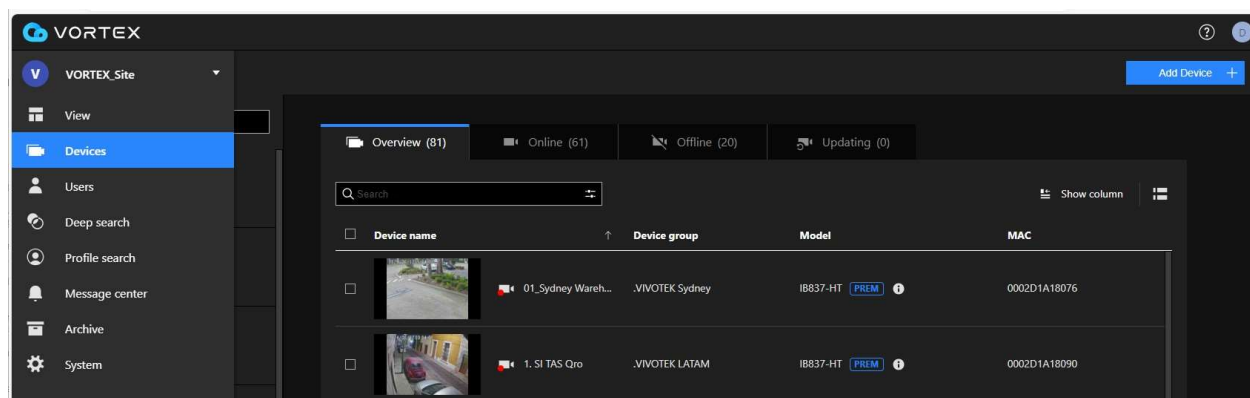
- **コントロールパネル:** ネットワーク接続情報とモデル名が表示されます。また、画像比率、オーディオ音量、ストリーム品質、デジタルズーム（利用可能な場合）を制御することができます。
- **表示パネル:** カメラの種類、名前、時間に関する情報をどのように表示するかを決めることができます。また、ビデオの内容分析をオンにするかどうかを決定することもできます。

8 デバイス

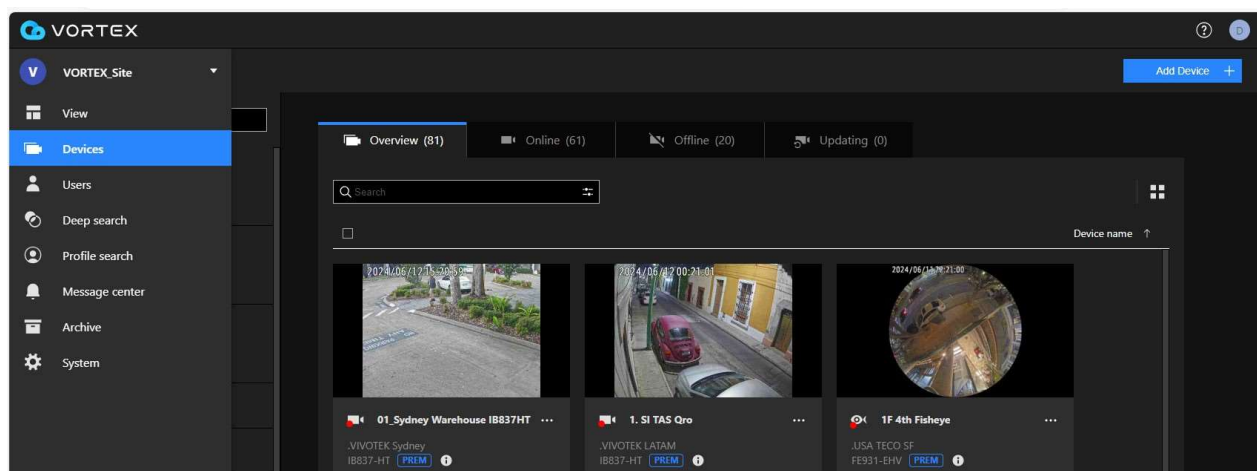
デバイスのページには、組織で使用されているすべてのカメラ、NVR、その他のデバイスがリスト表示、スナップショット付きリスト表示、グリッド表示で表示されます。各デバイスのデバイス名、デバイス・グループ、モデル名、MACアドレス、その他の設定はこのページで確認できます。



リストビュー



スナップショット付きリストビュー



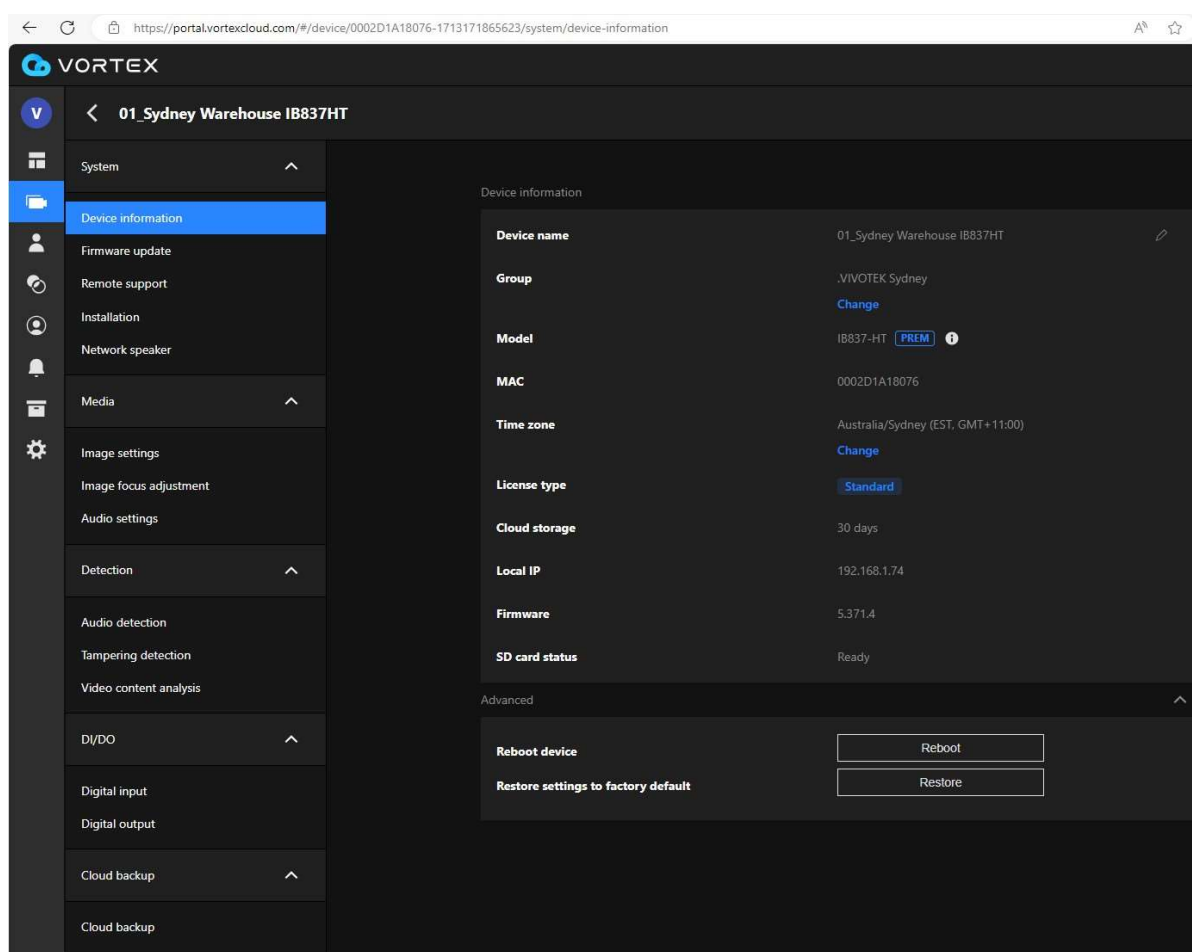
グリッドビュー

マウスカーソルをMACアドレス（グリッド表示では「...」）に合わせると、以下の4つのオプションが表示されます。:

- 設定: デバイス名、グループ、タイムゾーン、再起動、デフォルトへのリセットなどの設定を確認します。
- 移動先: 他のグループへ移動する場合は選択します。
- 映像解析: ビデオ検出タイプの結果を表示します。
- 削除: カメラを組織から削除します。この削除により、すべての削除されたカメラに関連するすべてのデータ / SD カード / クラウド動画も組織から削除されます。

8.1 システム > VORTEX カメラのデバイス情報

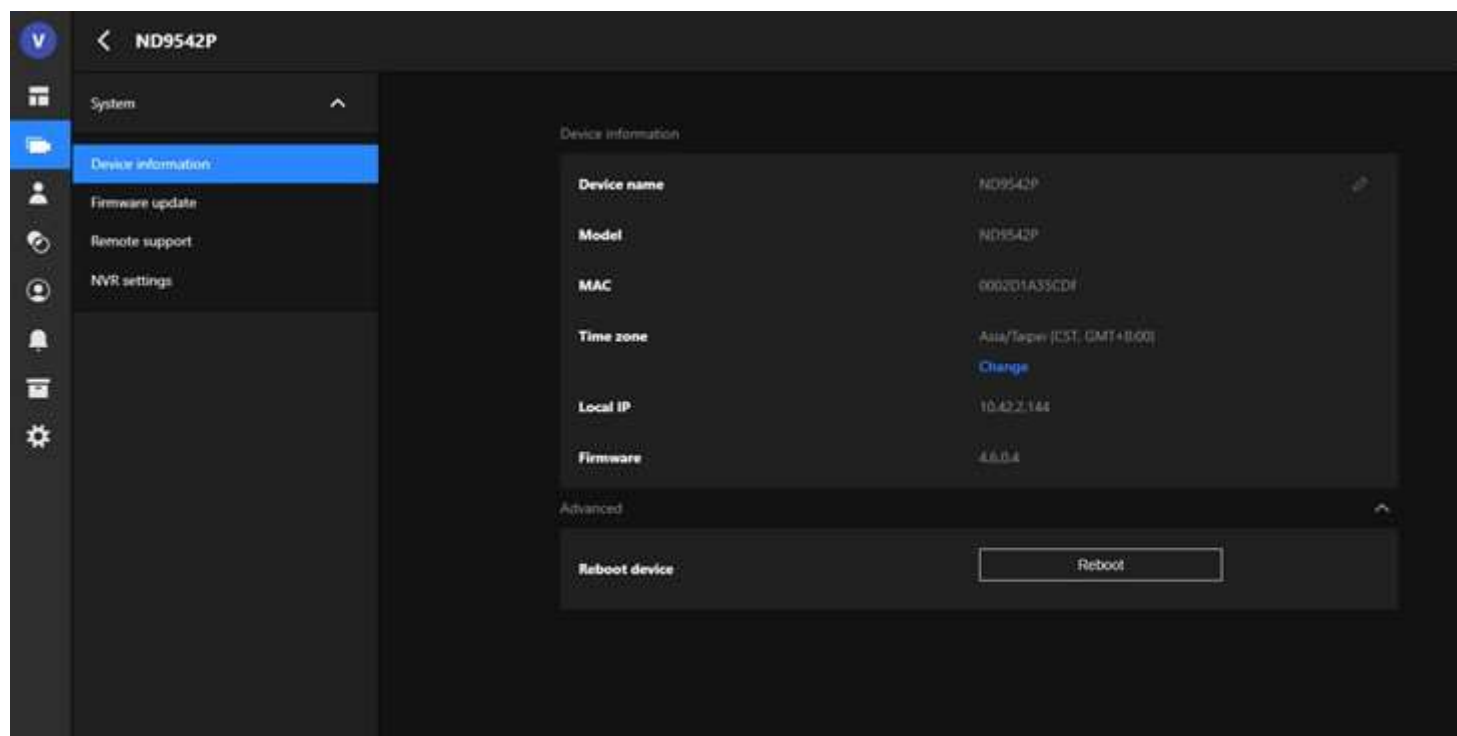
[設定]をクリックすると、デバイス情報、対応するオプション、その他の分類されたオプション（ワークスペースの左側に表示）が表示されます。



デバイス情報

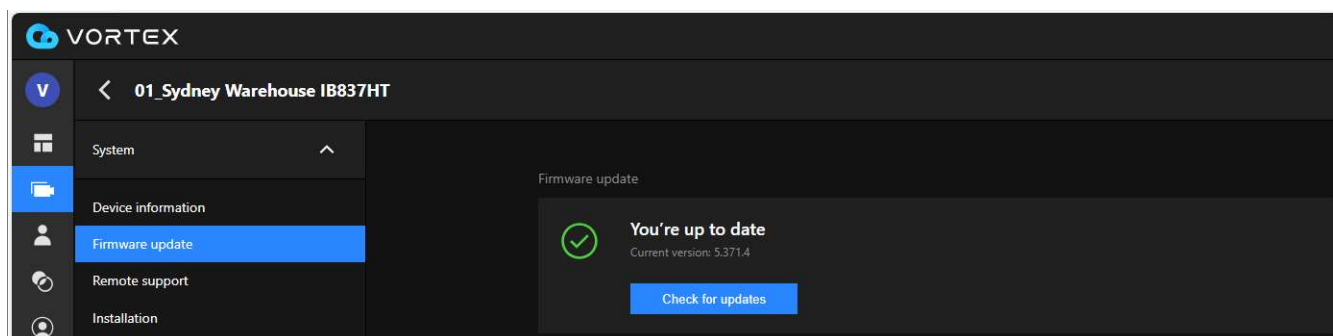
8.2 システム > VIVOTEK NVR のデバイス情報

[設定]をクリックすると、デバイス情報、対応するオプション、その他の分類されたオプション（ワークスペースの左側に表示）が表示されます。



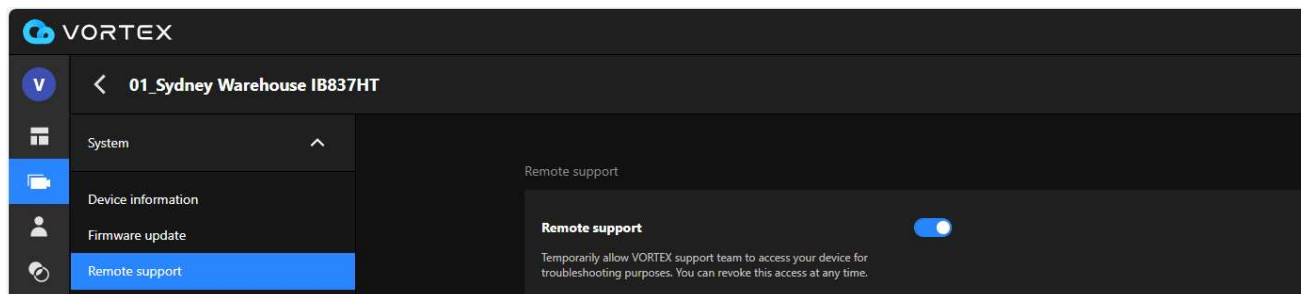
8.3 システム > VORTEX カメラと VIVOTEK NVR のファームウェア・アップデート

現在のファームウェアのバージョンを表示します。ファームウェアのアップデートがあるかどうかもここで確認できます。



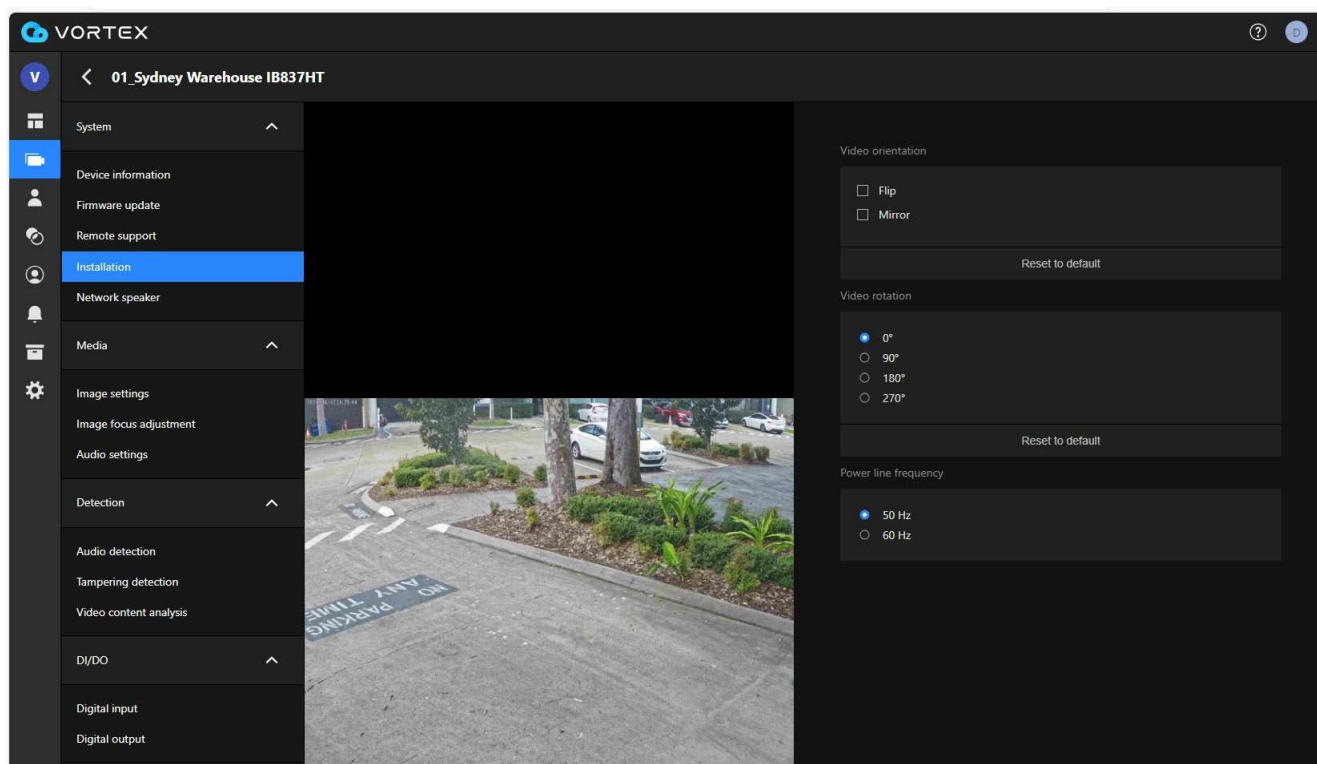
8.4 システム > リモートサポート

VORTEXカスタマーサービスがトラブルシューティングのために一時的にデバイスにアクセスできるようにします。



8.5 システム > インストール

カメラの設置方法に応じて、ビデオの向き、回転、電源ラインの周波数をここで変更できます。

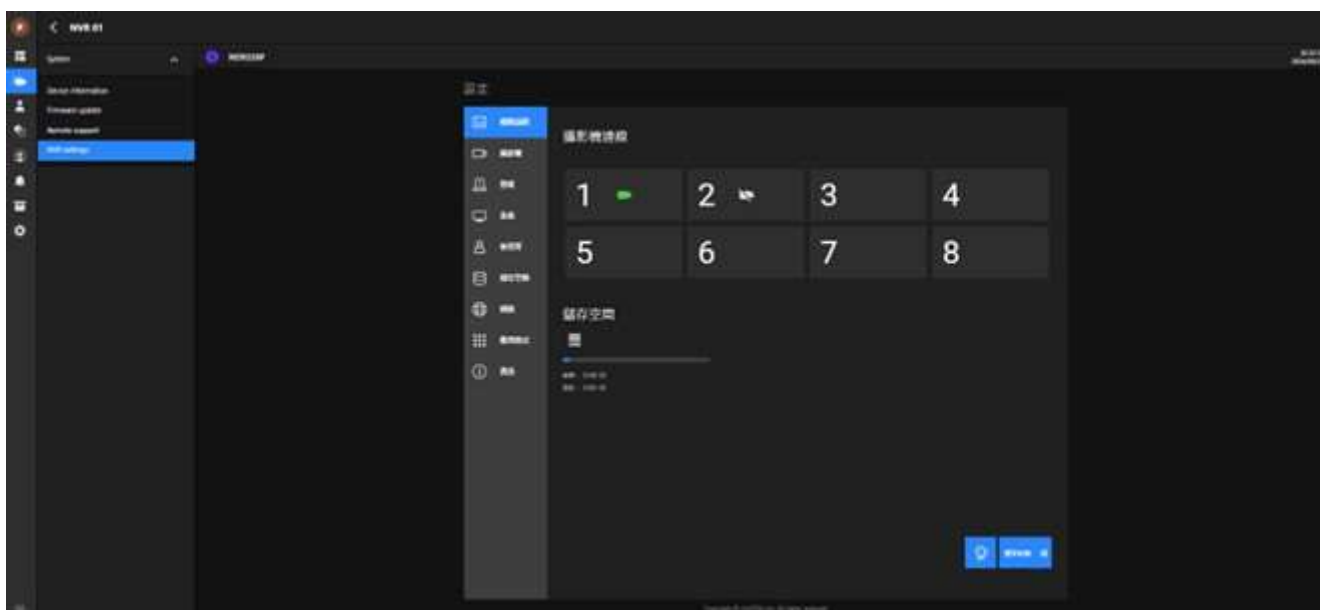


8.6 システム > ネットワークスピーカー

お使いのシステムにネットワークスピーカー（特定のイベントが発生した場合に侵入者に警告する音声トラックがあらかじめ録音されているもの）が付属している場合は、ここで取り付けることができます。

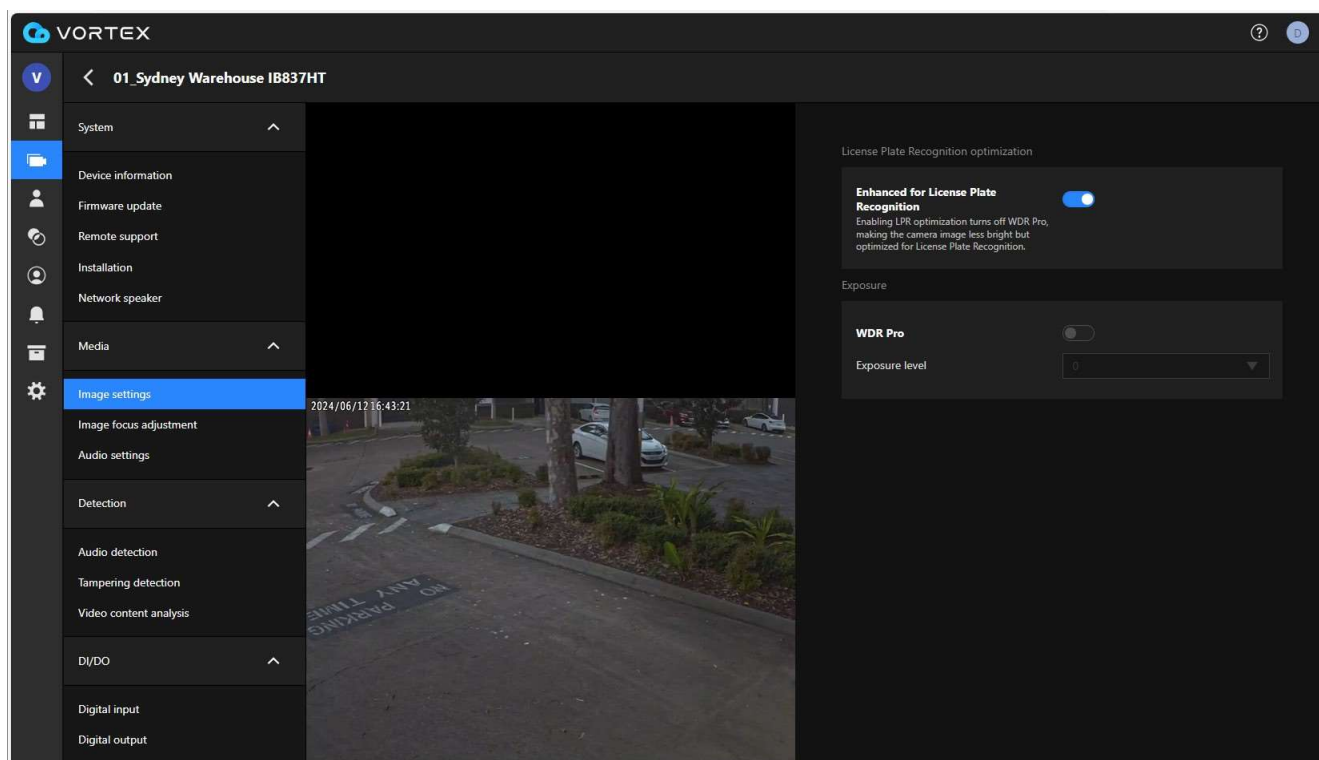
8.7 システム > NVR 設定

ユーザーが埋め込まれたページを開いてNVR設定を構成できるようにします。



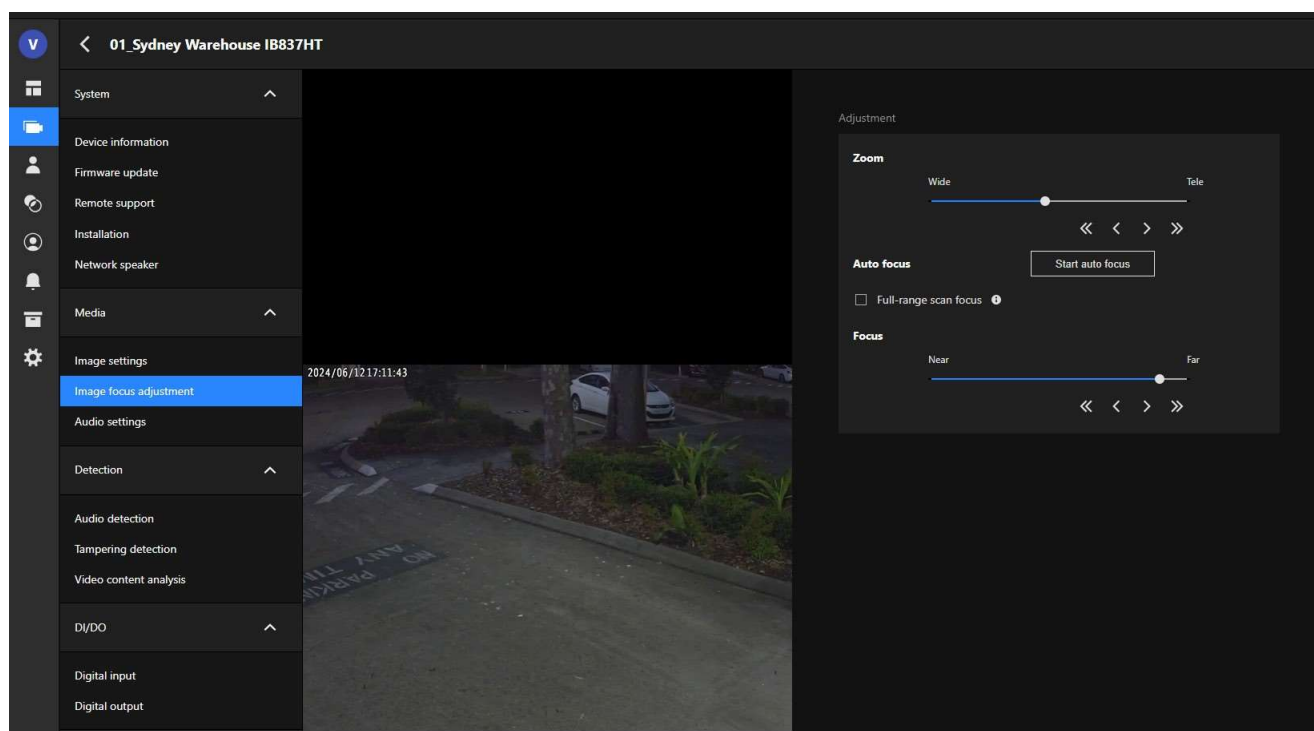
8.8 メディア > 画像設定

お使いのカメラにリモートレンズが付属している場合、エンハンスオプションをオンにすると、WDR Proがオフになりプレートをより認識しやすくなります（ただし、画像の明るさは落ちます）。



8.9 メディア > Image focus adjustment

お使いのシステムに画像フォーカス調整機能が付いている場合は、手動でフォーカスを調整するか、オートフォーカス機能を使用して、画像内の被写体が適切に鮮明であることを確かめられます。



8.10 メディア > プライバシーマスク

プライバシーマスクの設定を行うことができます。

8.11 メディア > オーディオ設定

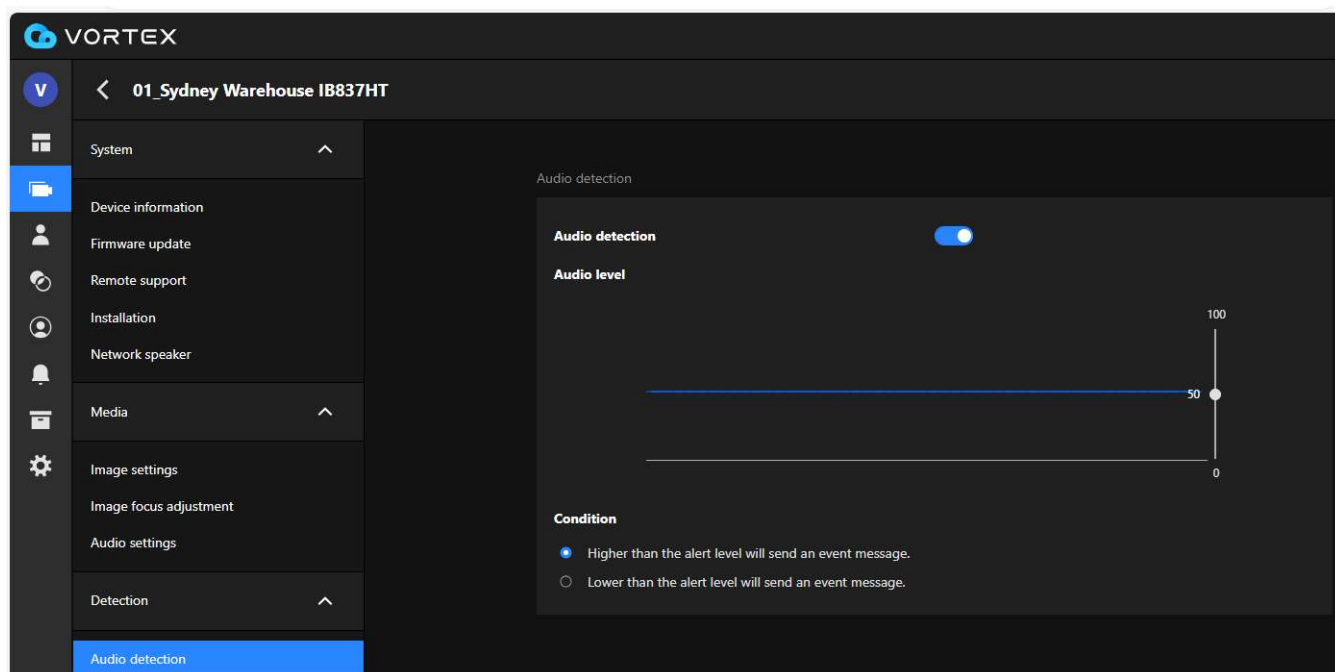
ここで、ビデオ録画中に音声を録音するかどうかを決めることができます。（カメラに音声機能がある場合）

8.12 メディア > RTSP

サードパーティのアプリケーションやメディアプレーヤーにライブビデオを配信することができます。RTSPストリーミングを機能させるには、カメラと受信デバイスの両方が同じローカルネットワーク上にある必要があります。（カメラごとに描画できるRTSPストリームは最大2つです）

8.13 検出 > オーディオ検出

音量レベルに基づいてイベントをトリガーするかどうかを決定する方法です。サークルをドラッグして、イベントをトリガーする音のポイントを設定してください。

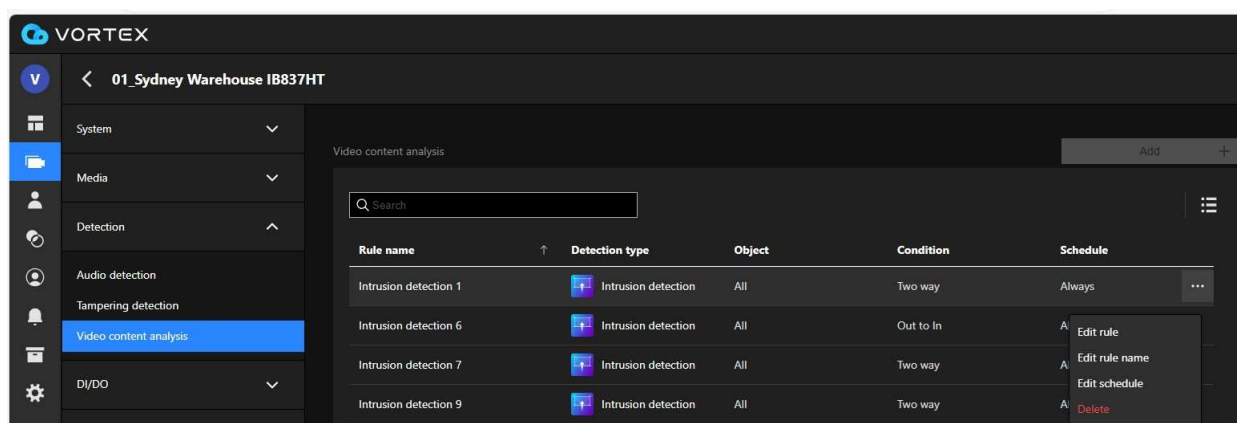


8.14 検出 > 不正操作検出

これは、通常動作中にカメラがいたずらされた場合、いたずら検出イベントが発生することを意味します。

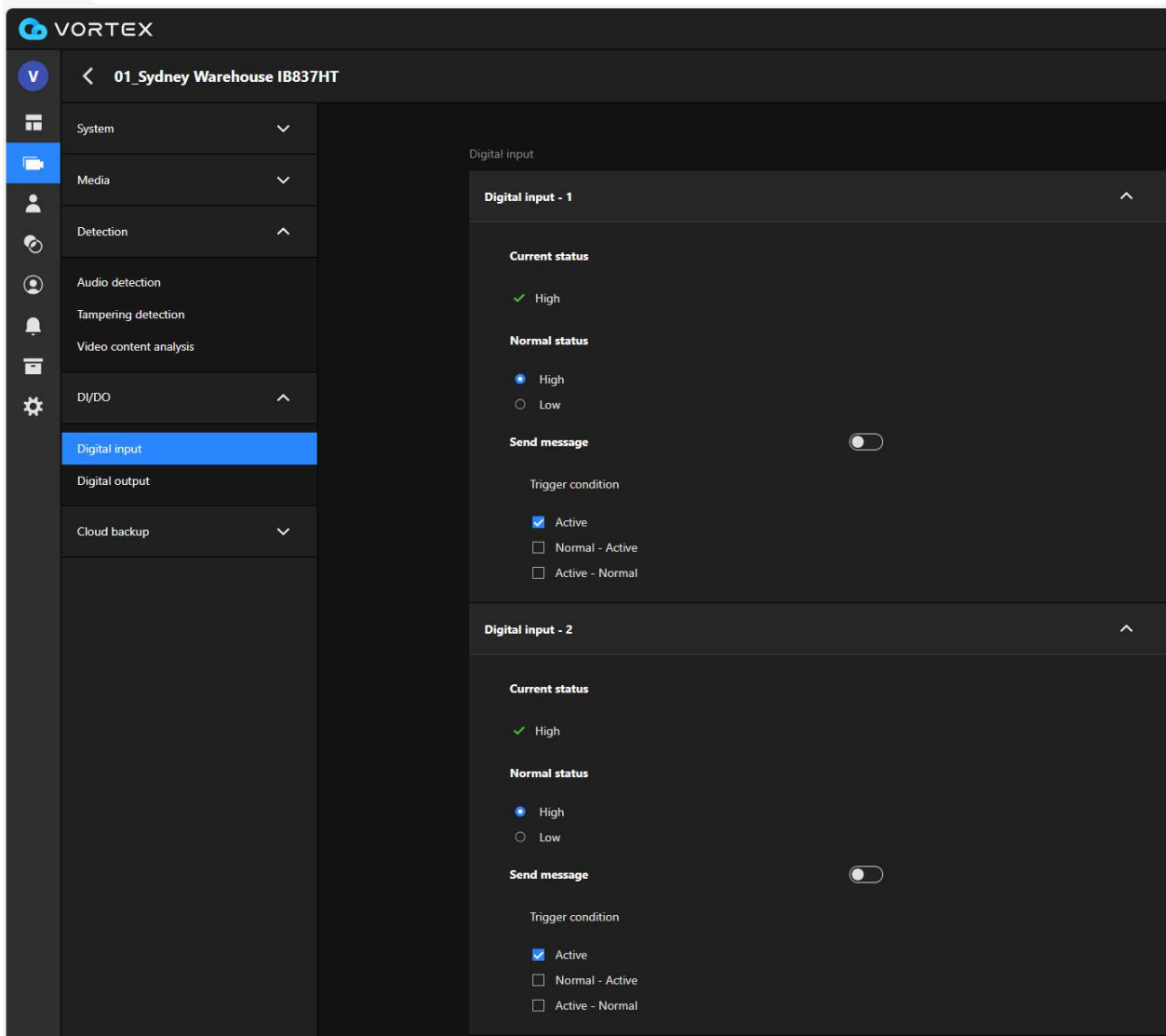
8.15 検出 > 映像解析

ここにすべてのビデオコンテンツ分析ルールが保存されます。"... "をクリックし、編集するオプションを選択することができます。



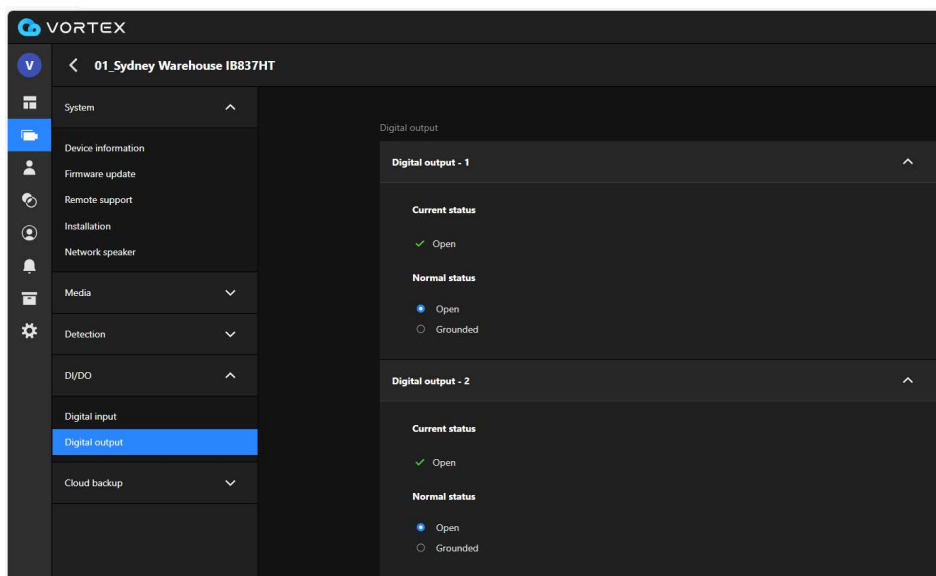
8.16 DI/DO > デジタル入力

デジタル入力のノーマル状態としてHighまたはLowを選択します。ネットワークカメラのデジタル入力ピンを外部機器に接続し、現在の入力接続状態を検出します。



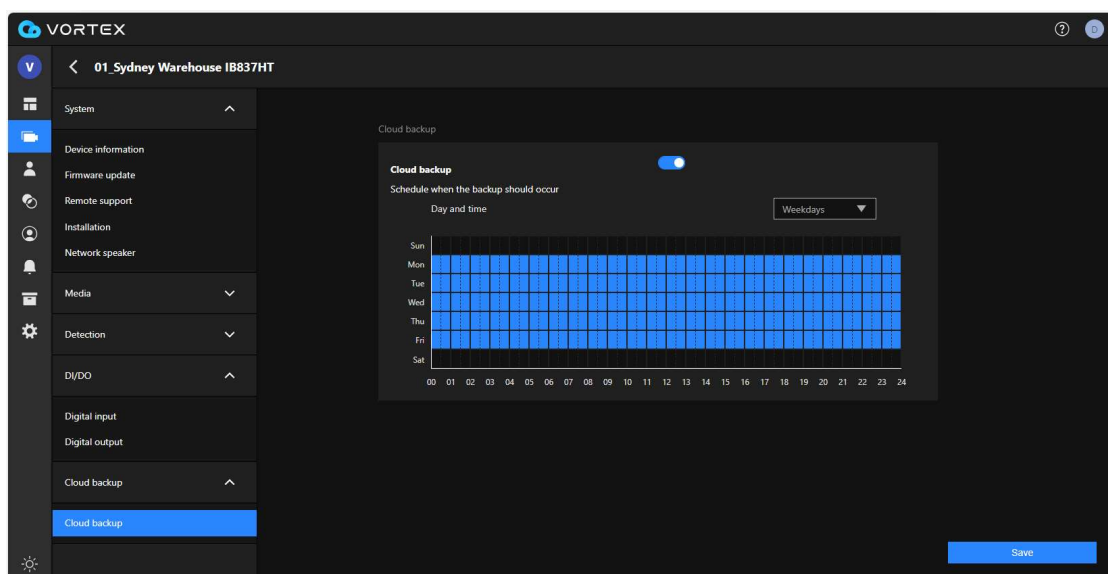
8.17 DI/DO > デジタル出力

接地または開放を選択して、デジタル出力の通常ステータスを定義します。ネットワークカメラのデジタル出力ピンを外部デバイスに接続して、現在の出力接続ステータスを検出します。



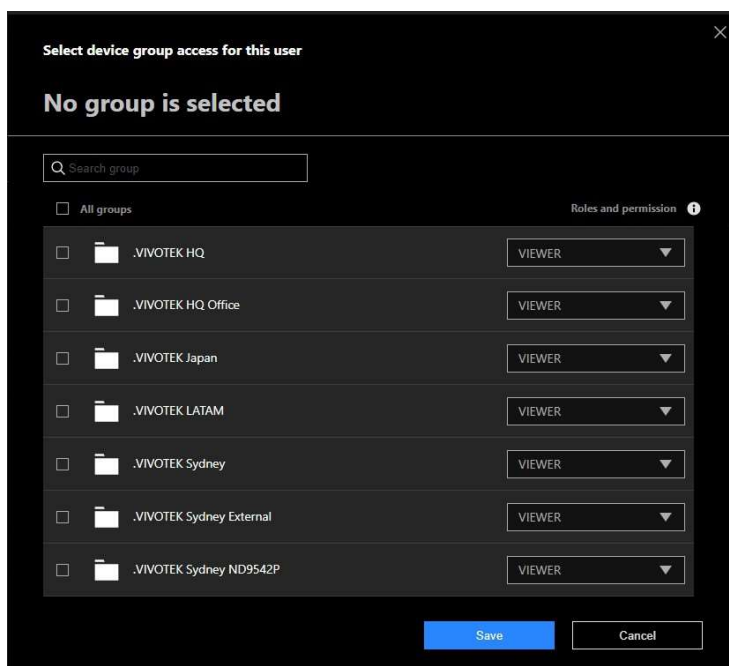
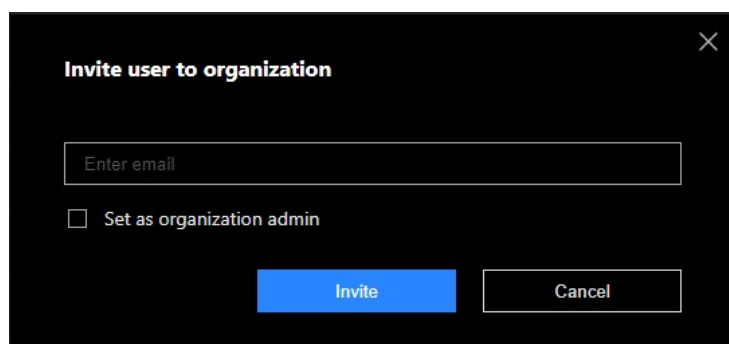
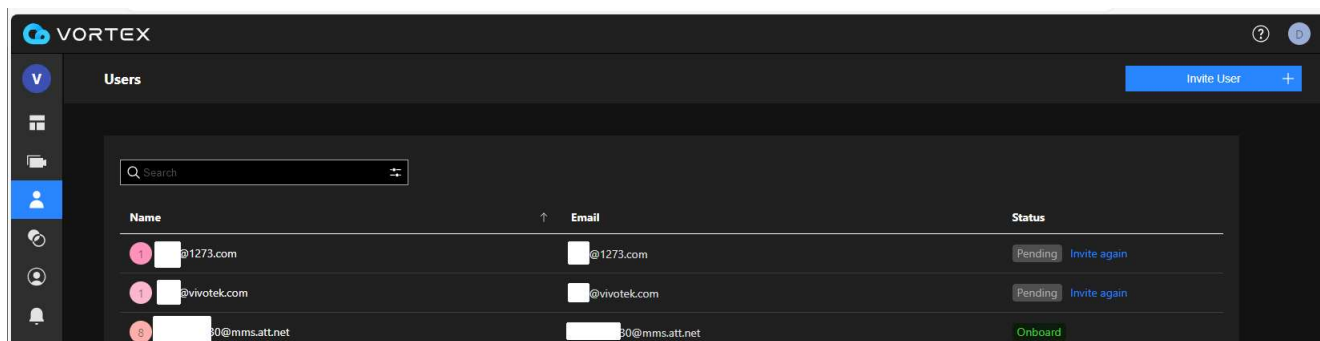
8.18 クラウドバックアップ > クラウドバックアップ

トグルボタンをスライドさせてクラウドバックアップを有効にします。有効にすると、ビデオはクラウドストレージに保存されます。ドロップダウンリストからオプションを選択するか、画面上でマウスをドラッグして、ビデオ映像をクラウドにバックアップするスケジュールを設定します。



9 VORTEX カメラと VORTEX Connect Pro のユーザー

ユーザーを招待して選択します。右上の「ユーザーを招待」ボタンをクリックします。次に、そのユーザーが使用できるデバイスを選択します。





- ユーザーを管理者に招待できるのは、オーナーと管理者のみです。
- ユーザーのアクセス権は、この「ユーザー」ページで設定または編集できます。

10 VORTEX Connect のユーザー

ユーザーを招待して選択します。VORTEX Connectは無料サービスのため、一度招待に成功したユーザーを特定のデバイスだけに割り当てることはできません。

Search		
Name	Email	Status
 123@132.com	123@132.com	Pending Invite again
 123@133.com	123@133.com	Pending Invite again
 123@321.com	123@321.com	Pending Invite again

11 ディープ検索

ディープ検索は、録画された映像内の対象物（人や車両）を効率的に検索できるポストサーチ機能です。応用シーンとしては、デパートでの泥棒探し、駅での迷子探し、容疑車両探しなどが挙げられます。

AI機能により、映像コンテンツはリアルタイムで分析され、対象物とその属性はメタデータとして事前に抽出されます。ディープ検索を使えば、例えば、赤いTシャツに青いジーンズを履いた人物を検索するために、何台ものカメラの録画映像を1フレームずつ何人もの人間の目で見する必要はありません。検索にかかる時間は、数日から数分へと飛躍的に短縮されるかもしれません。

ディープ検索の大きな特徴は、映像解析の中核がクラウドサーバー側ではなく、エッジ（エッジAIコンピューティング）で行われることです。オンボードのビデオアナリティクスは、対象物（エッセンシャルカメラとプレミアムカメラの両方）を検出・追跡し、対象物の属性を抽出します（プレミアムカメラのみ）。

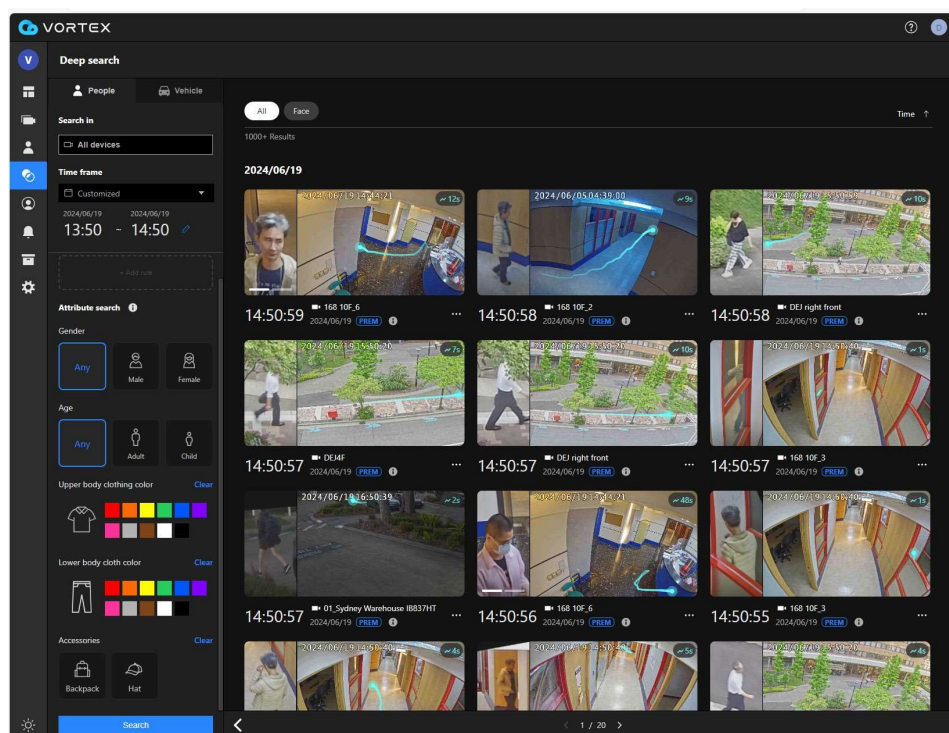
その後、ビデオアナリティクスのメタデータに基づいてディープ検索を行い、オブジェクトを検索するため、検索性能はサーバーベースのソリューションよりも劇的に速くなります。



現在、VORTEX Connect PROはディープ検索に対応していません。

11.1 ディープ検索の使い方

左側のメニューで「ディープ検索」をクリックします。デフォルトの検索結果が表示されます。デフォルト設定は、「人」、「すべてのデバイス」、「直近 1 時間」です。したがって、デフォルトの検索結果は、組織すべてのカメラで過去 1 時間以内に現れた人を表示します。



デフォルトのディープ検索結果の例

11.2 ディープ検索を使用して人を検索する

1. 左側のメニューで「ディープ検索」をクリックします。
2. VORTEXの左パネルに表示されているように、以下の条件に基づいて検索条件を設定します。
 - どのカメラを検索するか
 - 検索時間間隔（時間枠）
 - ルールによるフィルタリング（別名シーン検索）
 - > ライン跨ぎ検知
 - > 徘徊検知
 - > 侵入検知

- 外観によるフィルタリング（別名：属性検索）

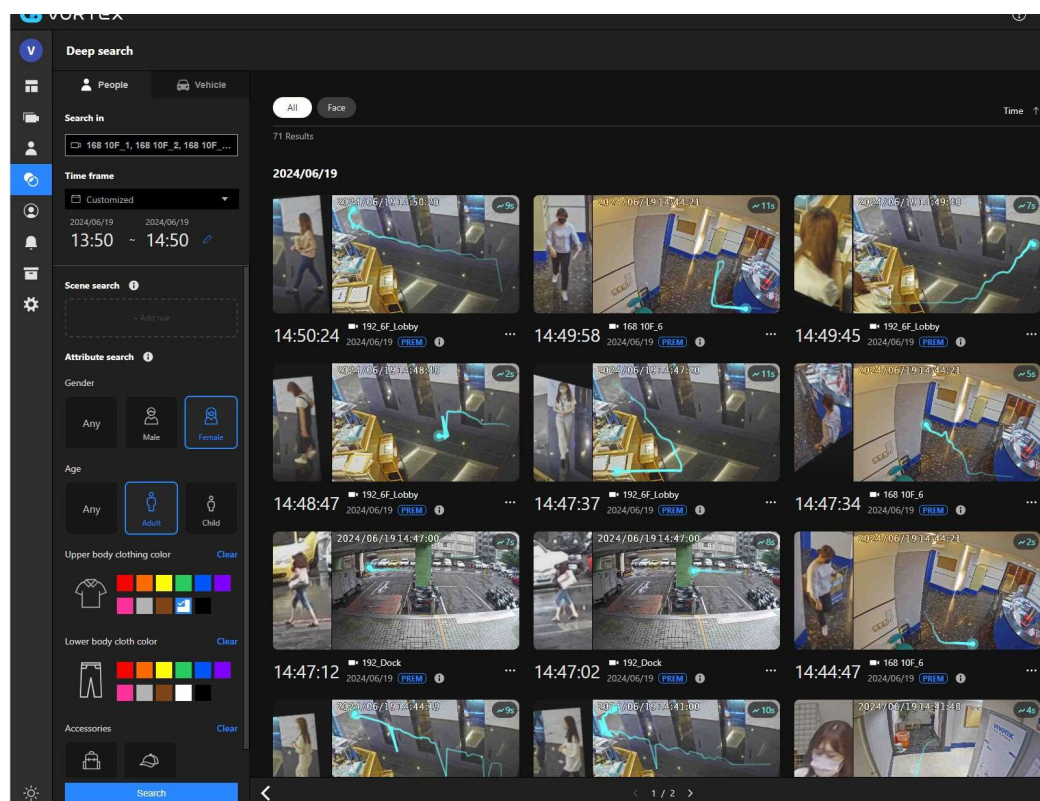
- > 性別
- > 年齢
- > 上半身の服の色
- > 下半身の衣服の色
- > アクセサリー - リュックサック
- > アクセサリー - 帽子

3. 検索をクリック

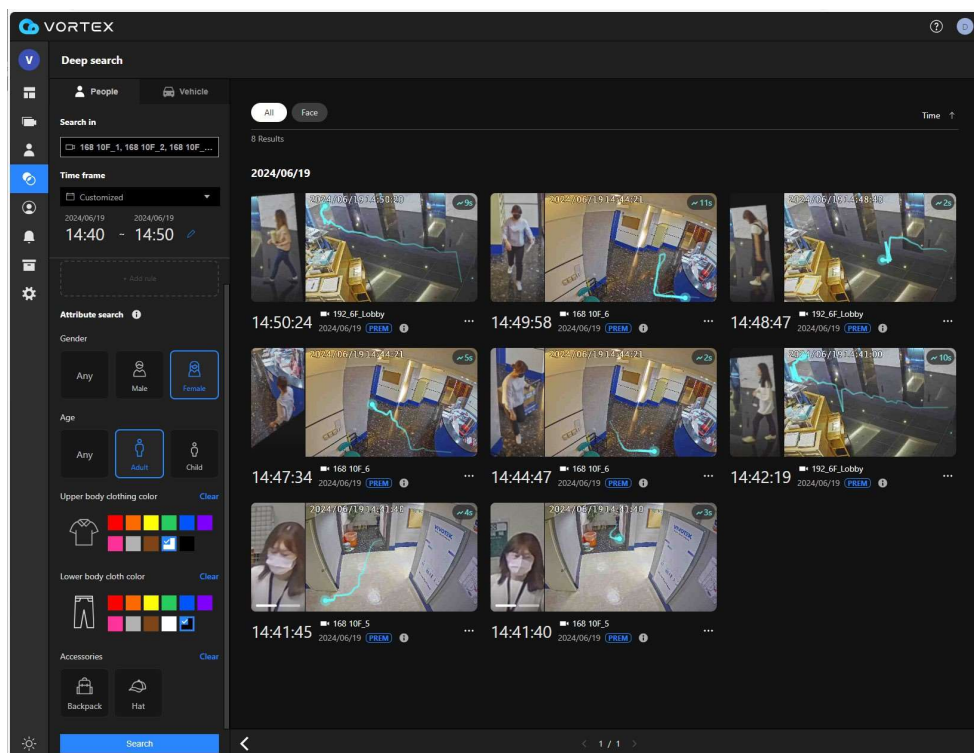
4. 検索結果が表示されます。以下のことに注意してください：

- 各検索結果は2つの部分で構成されます。左の画像は、検出され追跡された時間区間における物体（人物）の代表的なスナップショットで、右の画像はカメラビューのスナップショットです。
- 人物の移動軌跡は右の画像に重ねて表示され、ユーザーは撮影された時間間隔で人物がどのように移動しているかを簡単に知ることができます。

5. 検索結果のシーンスナップショットをクリックすると再生ページが開き、そのシーンに写っている人物が録画された動画が再生されます。必要に応じて「アーカイブ」をクリックして動画を保存してください。



6. また、必要に応じて検索条件を追加して（例えば、期間を短くするなど）、検索結果を絞り込むこともできます。



11.3 ディープ検索を使用して車両を検索する

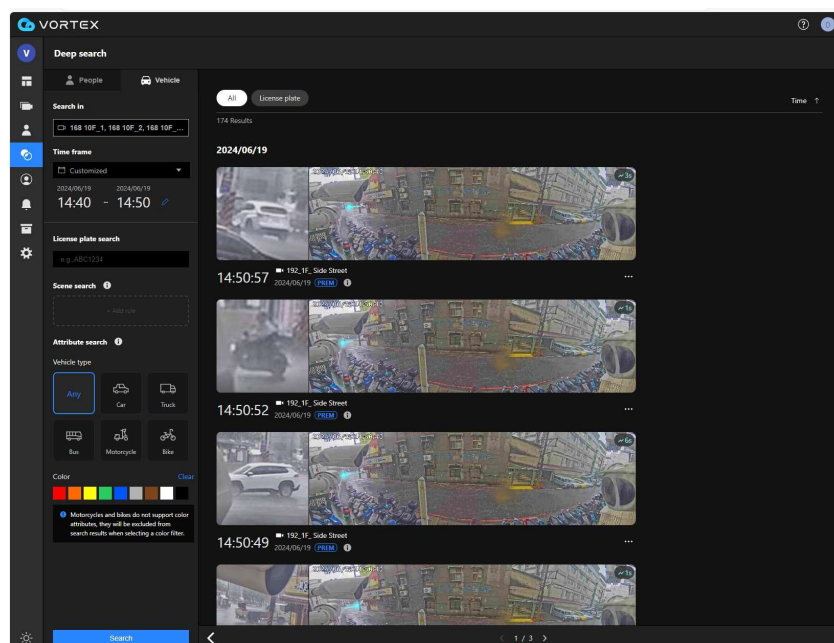
1. 左側のメニューで「ディープ検索」をクリックします。
2. VORTEXの左パネルに表示されているように、以下の条件に基づいて検索条件を設定します。
 - どのカメラで検索するか
 - 検索時間間隔（時間枠）
 - ルールによるフィルタリング（別名シーン検索）
 - > ライン跨ぎ検知
 - > 徘徊検知
 - > 侵入検知
 - 外観によるフィルタリング（別名：属性検索）
 - > 車両タイプ
 - > 色（オートバイと自転車はカラー属性をサポートしていません）
3. 「検索」をクリックします。

4. 検索結果が表示されます（「License plate」をクリックすると、ナンバープレートも表示されます）。

以下の点に注意してください。

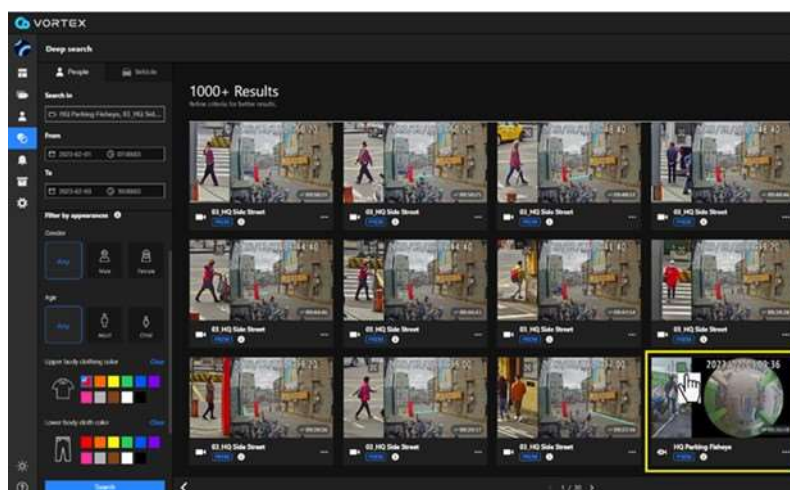
- 各検索結果は2つの部分で構成されます。左の画像は、検出され追跡された時間区間における物体（車両）の代表的なスナップショットで、右の画像はカメラビューのスナップショットです。
- 車両の移動軌跡は右の画像に重ねて表示され、ユーザーは撮影された時間間隔で車両がどのように移動しているかを簡単に知ることができます。

5. 検索結果のシーンスナップショットをクリックすると再生ページが開き、シーン内の車両が録画されたビデオが再生されます。



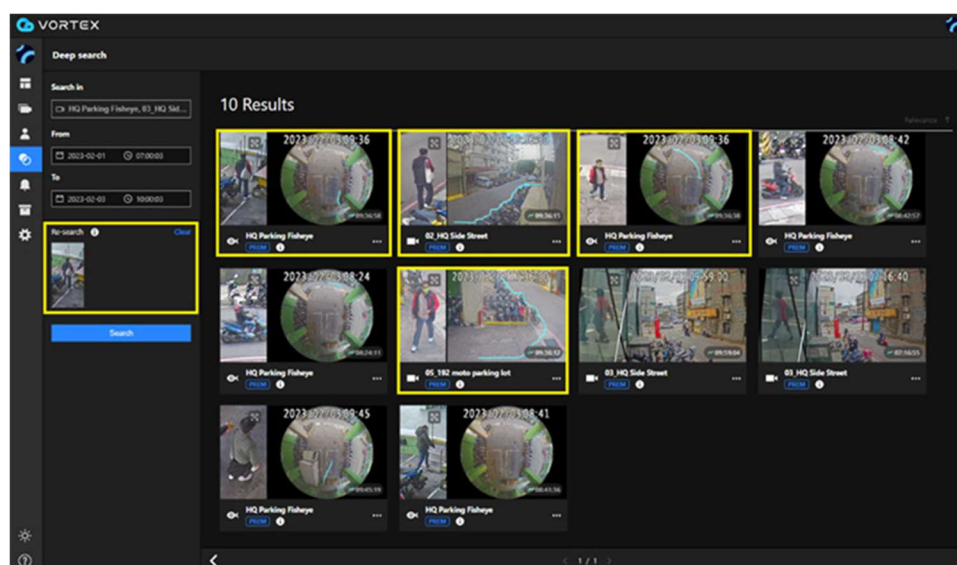
11.4 再検索の利用

再検索機能は、人物の再認識（Re-ID）の技術に基づいています。検索結果で人物を見つけると、再検索を使用して、選択したすべてのカメラのスナップショットでこの人物を検索できます。例で示すように、関心のある人物のスナップショットをクリックして、再検索を実行できます。



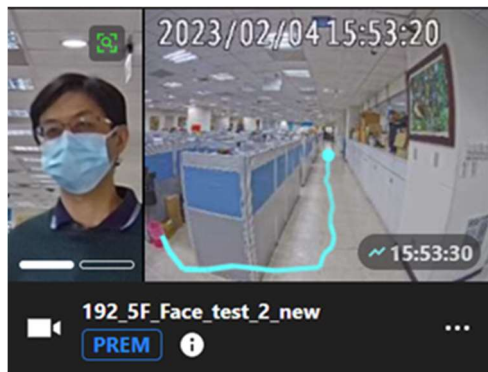
興味のある人物のスナップショットをクリックして再検索を行う

下の例では、選択したスナップショットを使って再検索を行っています。10個の検索結果のうち、最初の3個のビデオクリップと6番目のビデオクリップは異なるカメラで撮影された同一人物であることが確認できます。このように、再検索はカメラをまたいだ検索を効率的に行うことができます。



個人の再識別（Re-ID）

人の顔の解像度が顔の特徴を提供するのに十分な場合、左側に2つのスナップショットがあります。1つは顔のスナップショットで、もう1つは全身のスナップショットです。スナップショットの下にある白いバーをクリックすると、2つの画像を切り替えることができます。顔の特徴が利用可能な場合は、人物の検索にも使用されます。



12 プロファイル 検索

プロフィール検索では、顔画像付きのプロフィールを作成し、プロフィール内の顔画像からその人物を検索することができます。ユーザーは、プロフィールの顔画像をコンピュータからアップロードするか、ディープサーチの結果から保存することができます。ユーザーは、プロフィールが作成された直後、または後で、録画されたビデオ内の人物を検索することができます。

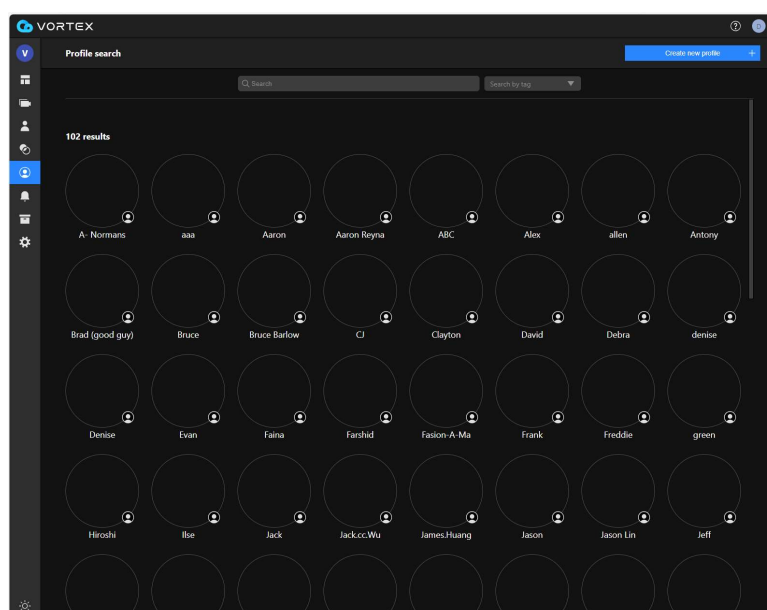
VORTEX AIの大きな特徴は、映像解析の中核がクラウドサーバー側ではなく、エッジ側で行われていることです。オンボードのビデオ解析が顔を検出し、顔の特徴を抽出します。それらのメタデータは、事後検索のためにクラウドに保存されます。

12.1 プロフィールの作成

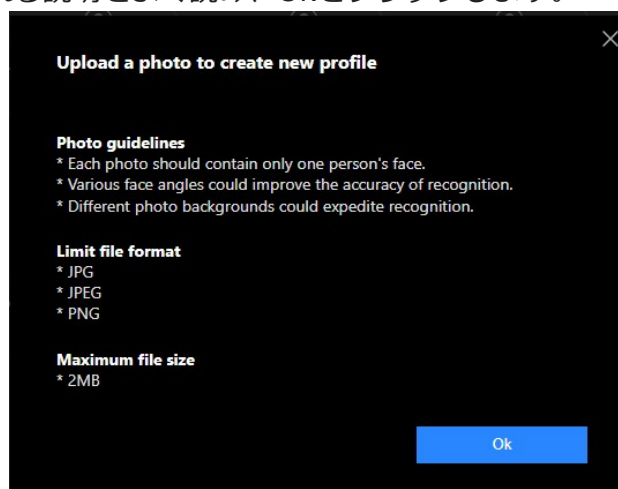
VORTEXの左側メニュー「プロフィール検索」をクリックすると、作成済みのプロフィールと検索結果の件数が表示されます。(マニュアルでは、肖像権やプライバシーの関係上、表紙画像を意図的に黒くしています)



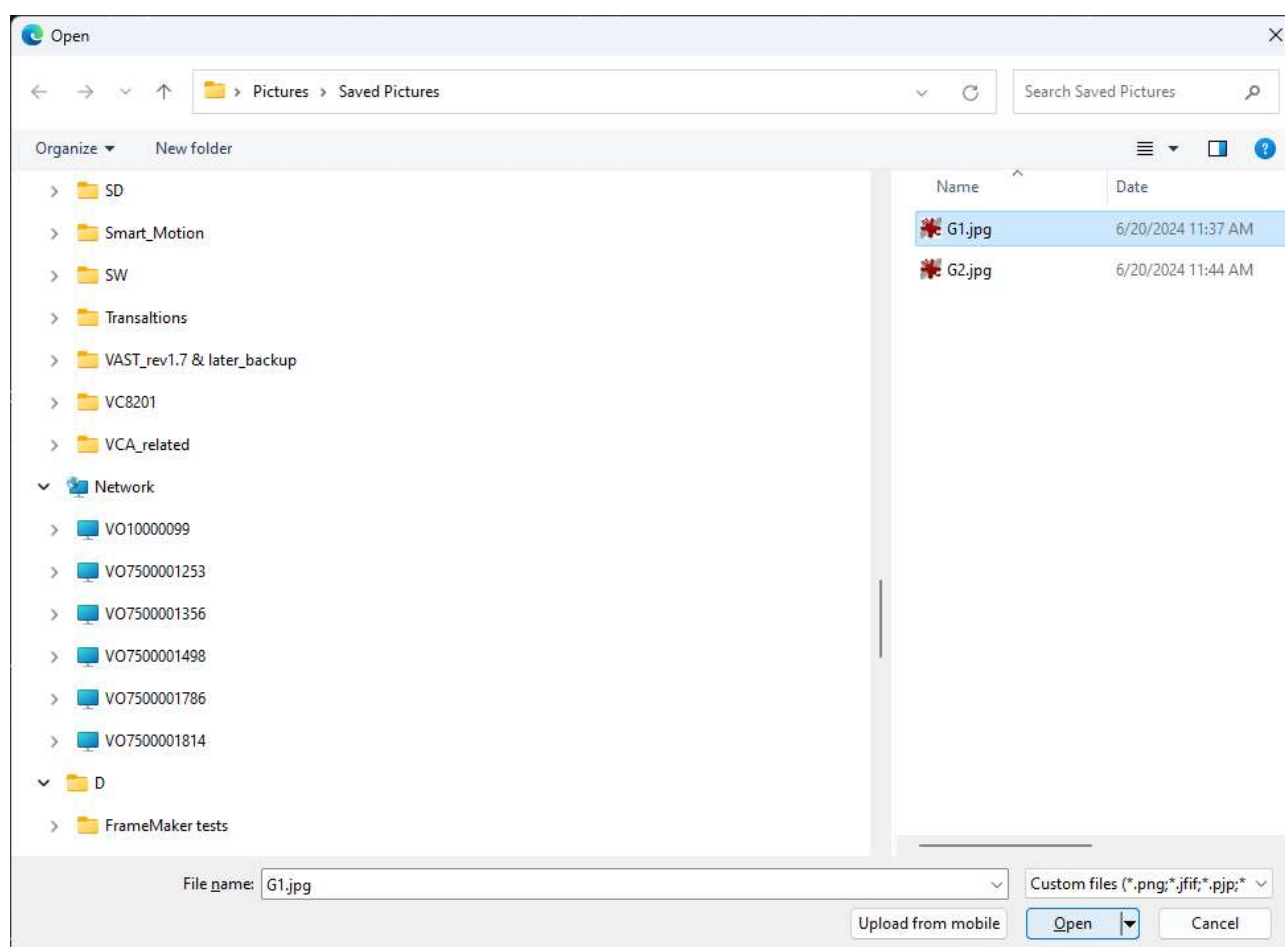
現在、VORTEX Connect PROはプロフィール検索に対応していません。



1. 「新しいプロフィールを作成」をクリックします。
2. 画面に表示される説明をよく読み、Okをクリックします。

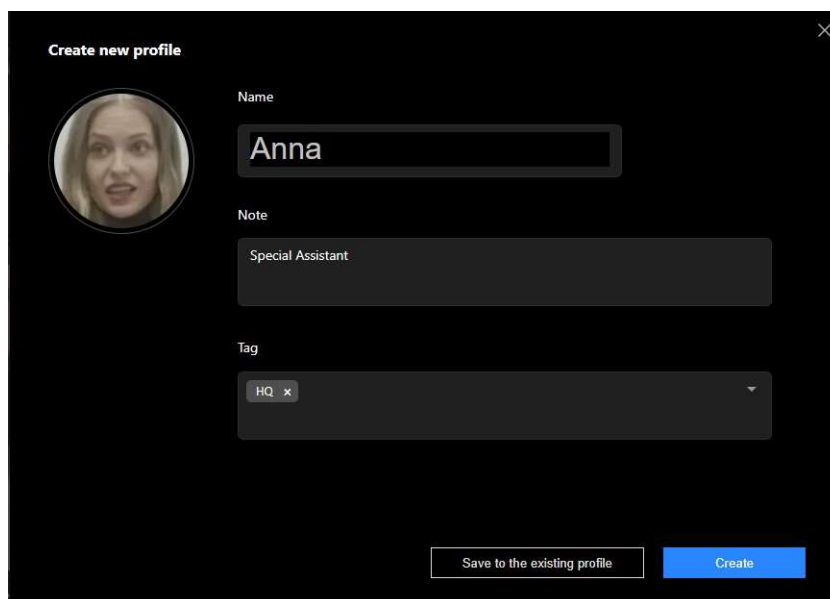


3. 画像ファイルを選択し、「開く 」をクリックします。



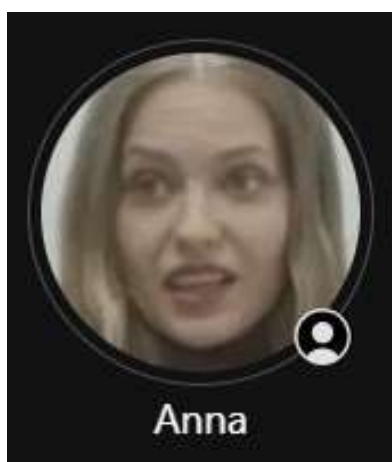
4. 以下の情報を入力し、「作成」をクリックしてこの人物を新規プロフィールとして追加するか、「既存のプロフィールに保存」をクリックして既存の人物のプロフィールにさらに情報を追加します。

- 名前：姓、または名
- 備考：この人物の説明
- タグ：カタログや検索を簡単にするために複数のタグを追加します。



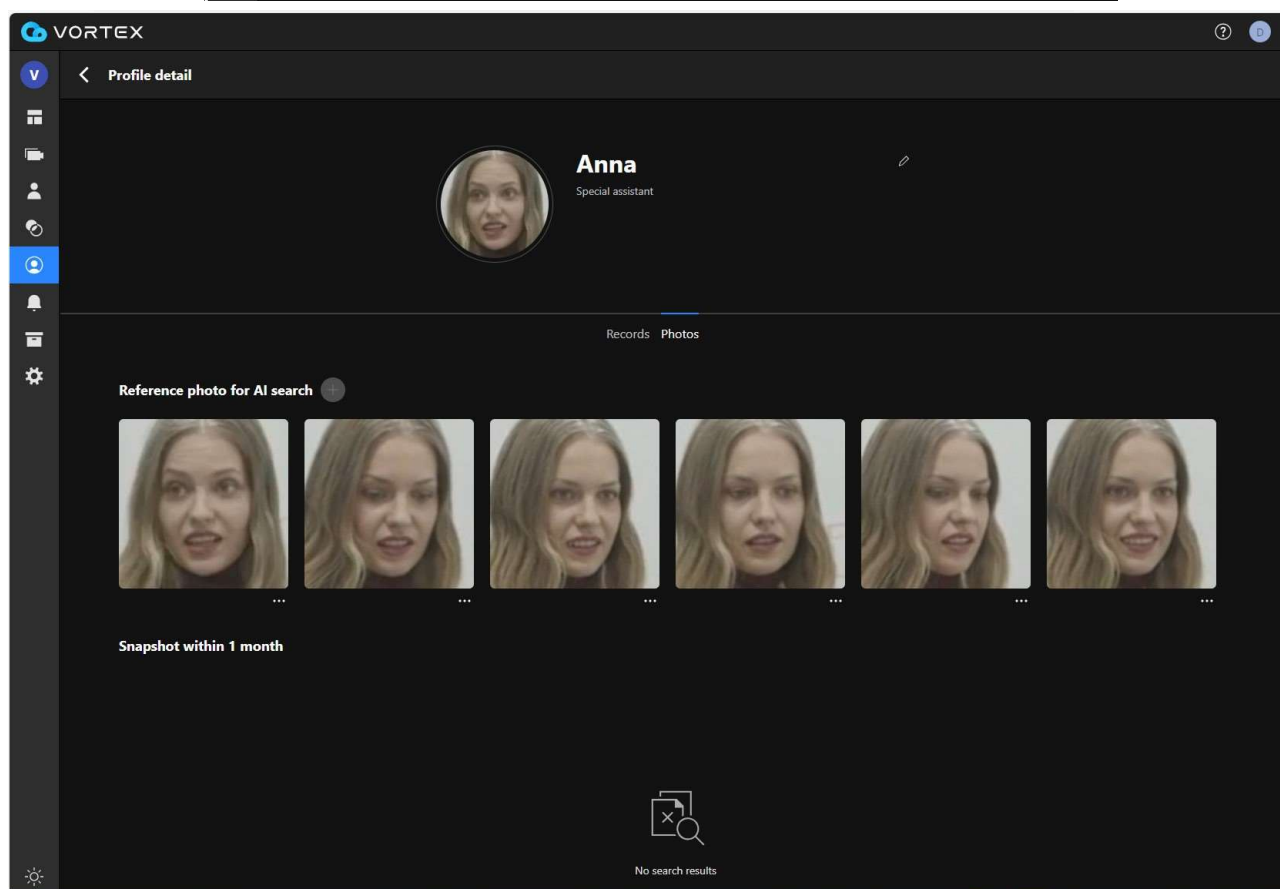
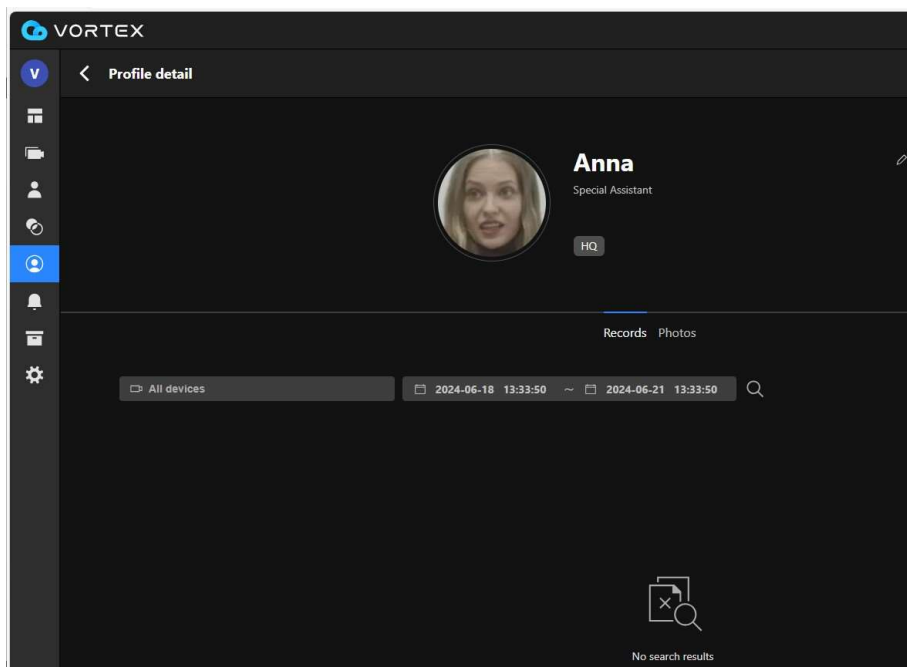

ディープ検索の結果から顔画像をプロフィールに追加することもできます。

5. 顔画像がワークスペースの新しい検索結果として表示されます。画像のサムネイル（カバー画像）をクリックすると、プロフィールの詳細と検索オプション（記録と写真）が表示されます。



12.1.1 プロフィール検索を使って特定の人物を検索する

[記録]タブでは、[デバイス]および[期間]列を使用して、プロフィール写真に基づいてこの人物の検索を開始します。[写真]タブでは、プロフィール検索に役立つ参考写真を最大6枚まで追加できます。



13 メッセージセンター

メッセージセンターは過去のイベントを表示するハブとして機能します。メッセージ・リストには、事前に設定されたトリガーに関連するイベントのみが含まれます：デバイス、システム、アクセス・コントロール。トリガーに基づいて検索条件を設定したら、青い検索ボタンをクリックして検索結果を取得します。

13.1 デバイスイベント

ここでは、検索の条件として3つのフィルターがあります。

13.1.1 デバイス

イベントをフィルタリングするデバイスグループを選択します。

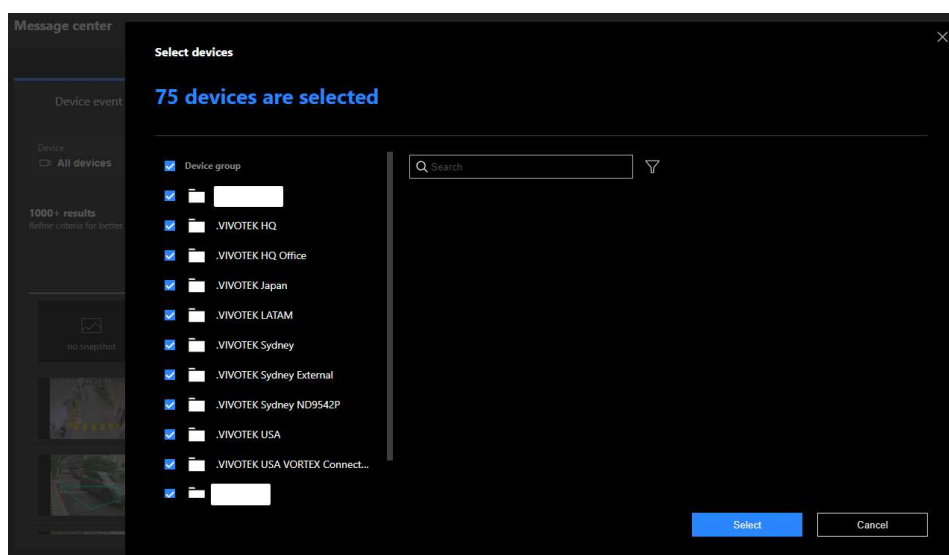
13.1.2 イベントタイプ

フィルタリングされたビデオを確認する際に表示するイベントタイプ（カメラまたは NVR から生成されたもの）を選択します。

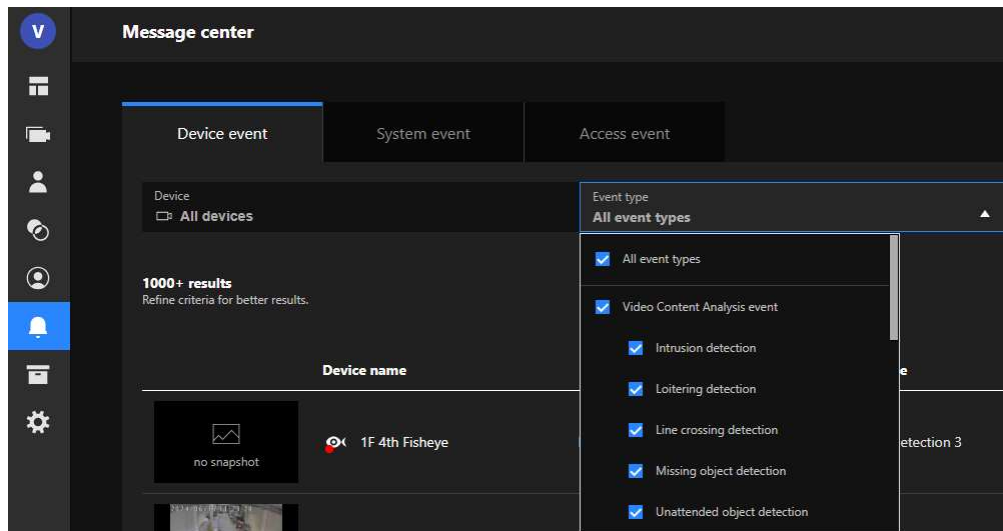
- Video Content Analysis event types
- General event types

13.1.3 時間枠

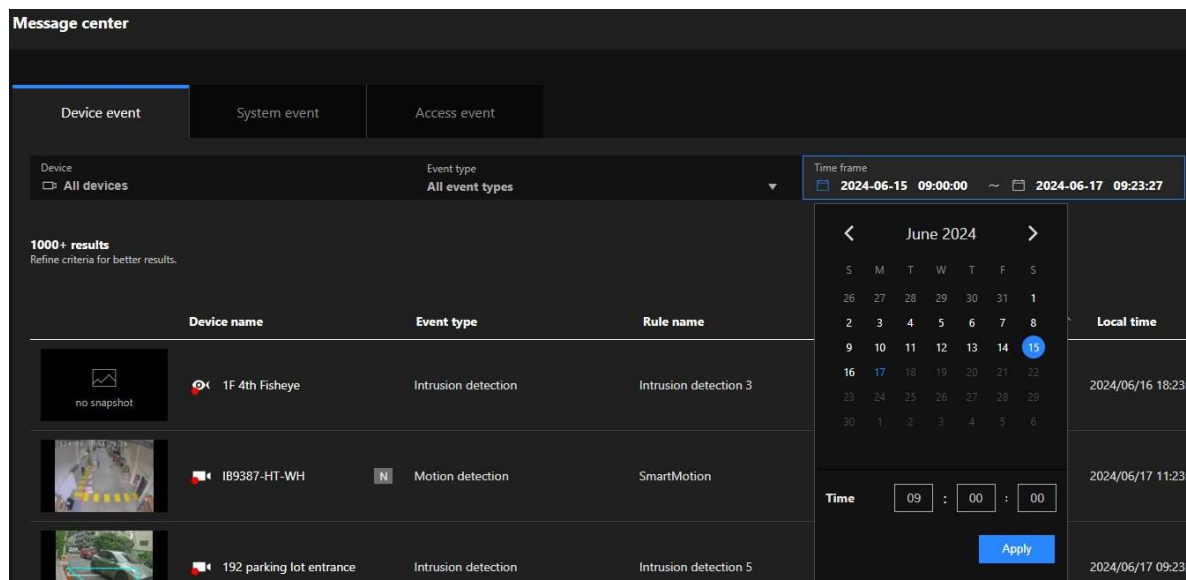
検索結果を絞り込んだり広げたりするために、特定の時間範囲を設定します。



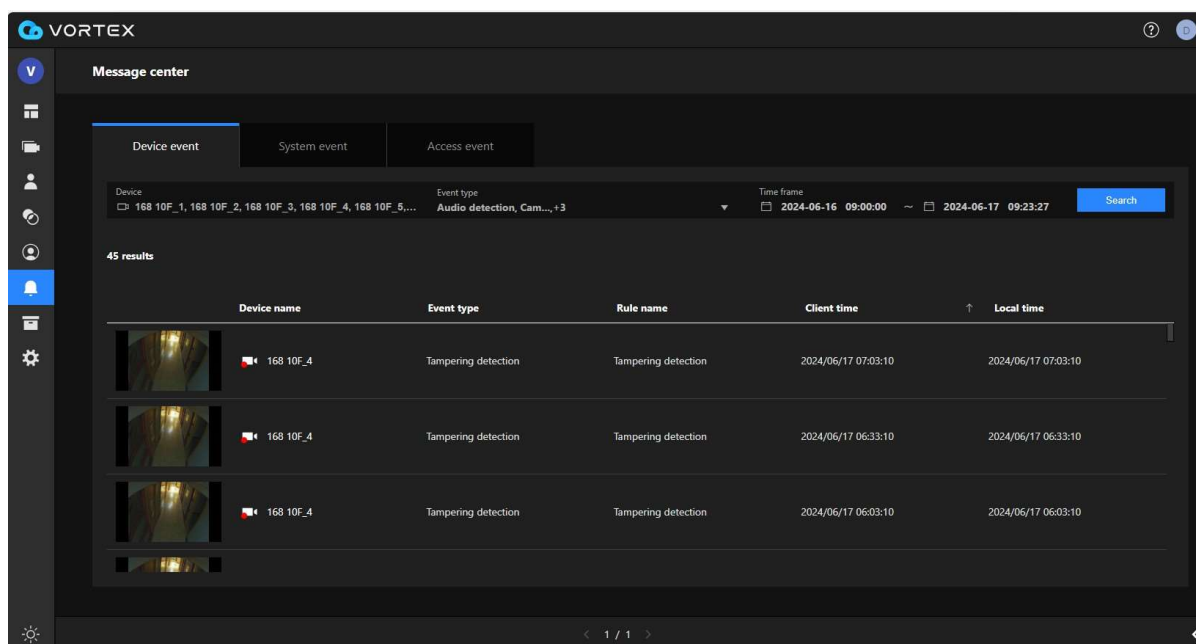
デバイスグループを選択



イベントタイプを選択



期間を選択



検索結果の例



- 検索結果では、任意の項目をクリックして、関連するビデオやその他の詳細（右図）を表示することができます。また、アーカイブボタンをクリックしてビデオを保存することもできます。そのため、後でアーカイブタブに移動し、より整理された方法ですべてのアーカイブされたビデオを見ることができます。
- クライアント時間とは、イベントが発生したシステム時間を意味します。クライアント時刻はローカル時刻と同じですが、時差があるかもしれないことに注意してください。
- ローカルタイムとは、そのイベントが発生したときのローカルシステムの時刻を意味します。ローカル時刻は1つしかありませんが、多くのクライアント時刻と等しい場合があります（VORTEXシステムにアクセスする地域によって異なります）。

13.2 システムイベント

ここでは、3つのフィルターを検索条件として使用することで、オフラインなどのシステム関連の問題を検索することができます。検索条件を設定したら、検索ボタンをクリックして検索結果を表示します。

13.2.1 デバイス

イベントをフィルタリングするデバイスグループを選択します。

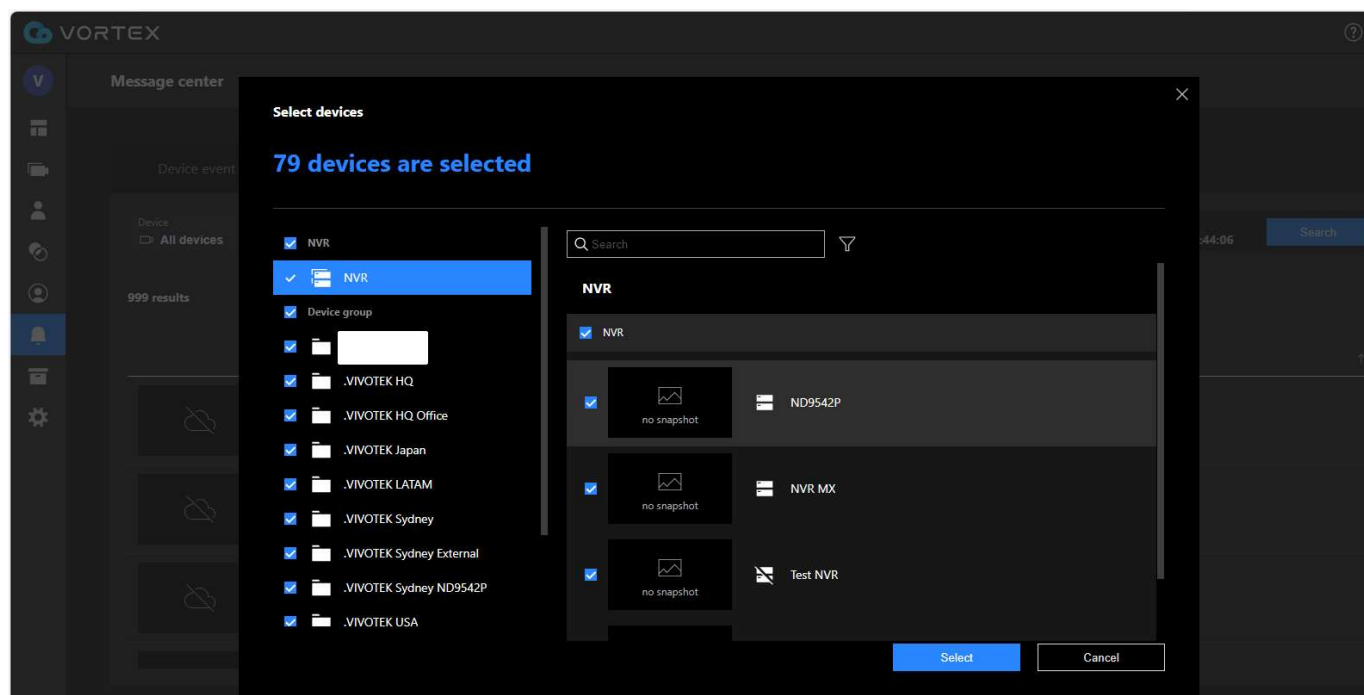
13.2.2 イベントタイプ

フィルタリングされたビデオを確認する際に表示するイベントタイプ（カメラまたはNVRから）を選択します。

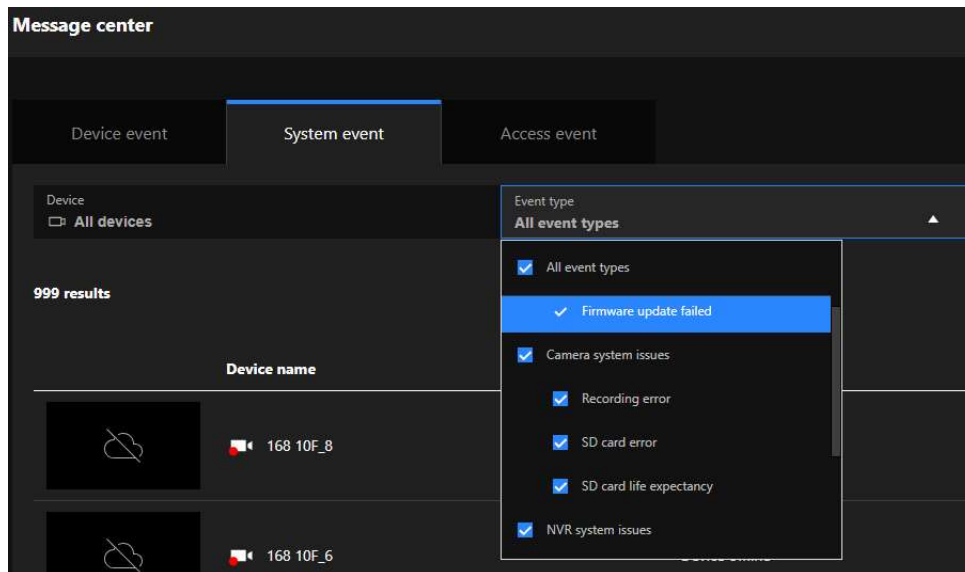
- General system event types
- Camera system event types
- NVR system event types

13.2.3 時間枠

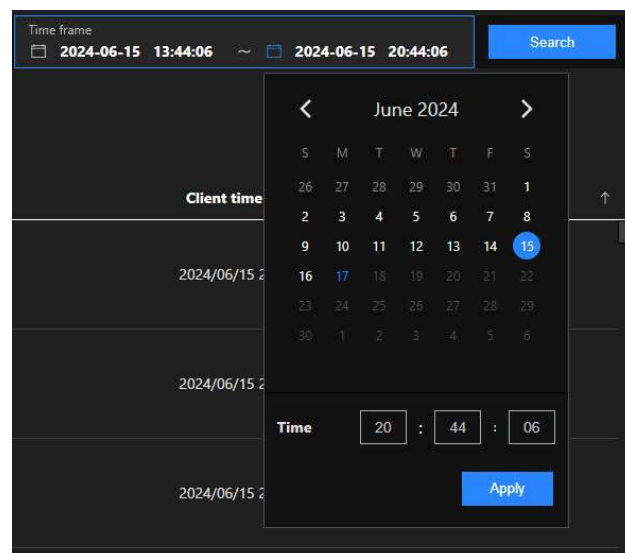
検索結果を絞り込んだり広げたりするために、特定の時間範囲を設定します。



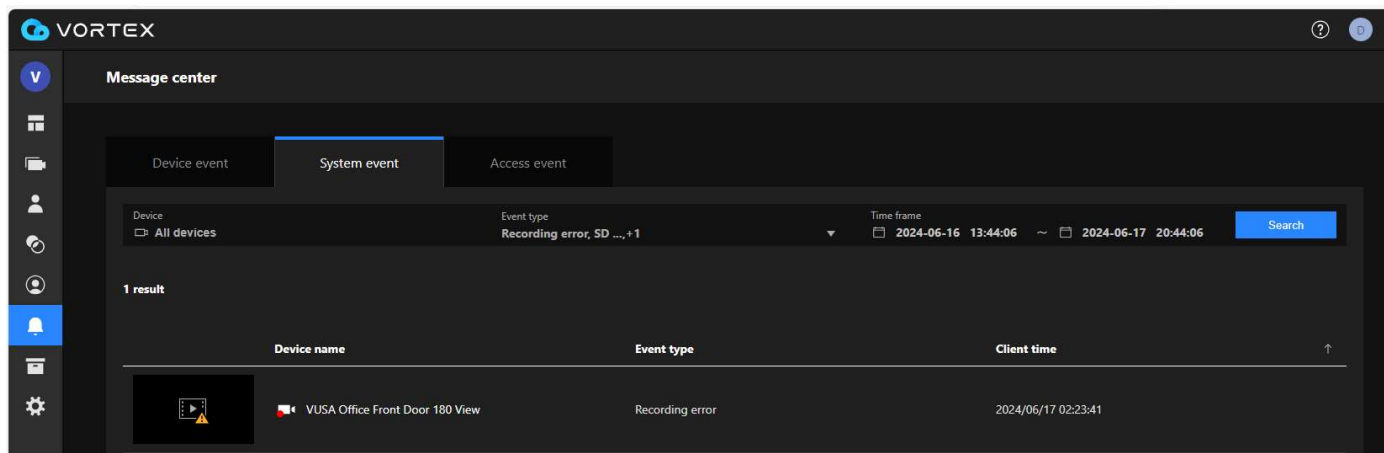
デバイスグループを選択



イベントタイプを選択



期間を選択



検索結果の例

13.3 Access event

VORTEXは入退室管理システムと連携することができますので、ここでは4つのフィルター（カード保持者名を含む）を検索条件として、ドアの開錠など入退室関連の問題を検索することができます。検索条件を設定したら、検索ボタンをクリックすると検索結果が表示されます。

13.3.1 Access control point

アクセス・コントロール・デバイスが設置されている場所（ドアやエレベーターなどのアクセス・コントロール・ポイント）を選択します。

13.3.2 イベントタイプ

フィルタリングされたビデオを確認するときに見たいイベントタイプ（デバイスのテンパリング、ロックダウンなど）を選択します。

- Door event types
- Device tempered event types
- Lockdown event types

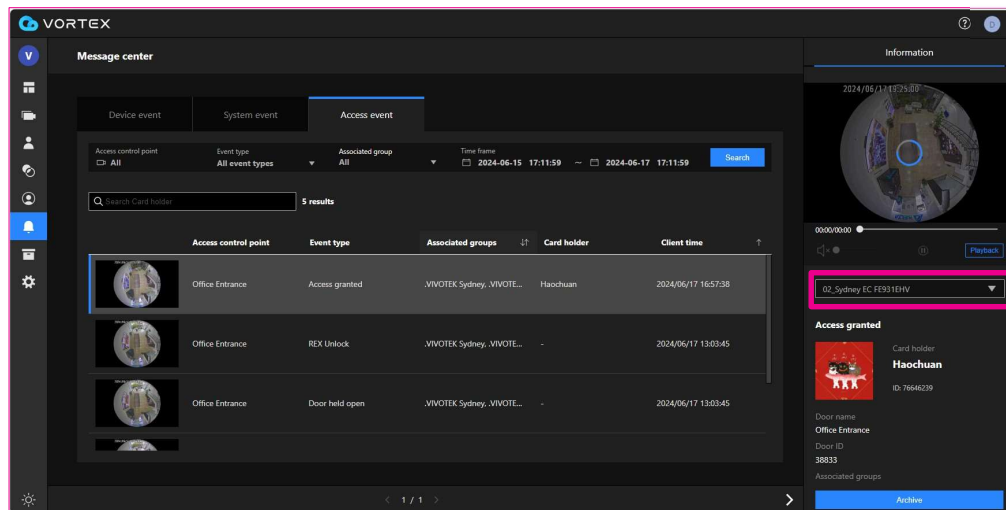
13.3.3 Associated group

アクセス制御デバイスが所属するグループを選択します。

13.3.4 時間枠

検索結果を絞り込んだり広げたりするために、特定の時間軸を設定します。

ドロップダウンリストをクリックして、関連ビデオを表示する別のカメラを選択します。



14 アーカイブ

ビデオ・アーカイブとは、もはやアクティブに使用されていないものの、保持する必要があるビデオ・データを、長期保存のために別の場所に移動するプロセスです。アーカイブされたデータは、基本的に複製であるデータバックアップとは異なり、一意です。アーカイブは通常、組織が法的規制や内部ポリシーに準拠するなどの理由で保持する必要があるデータです。

クラウドアーカイブ機能では、VORTEX有料ユーザーは保存期間の制限がありません。ビデオクリップは無期限に保存されます。これは、すぐに確認する必要はないけれども、将来の参照やその他の目的には不可欠な古い映像を保存しておくのに最適です。クラウドアーカイブ機能では、VORTEX有料ユーザーは保存期間の制限がありません。ビデオクリップは無期限に保存されます。これは、すぐに確認する必要はないけれども、将来の参照やその他の目的には不可欠な古い映像を保存しておくのに最適です。

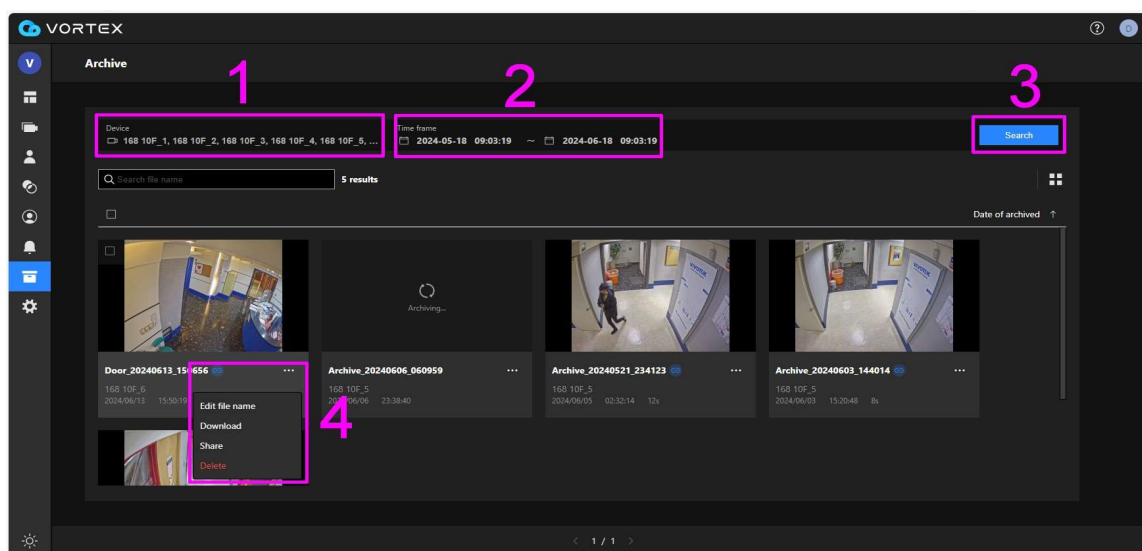
14.1 アーカイブされたビデオクリップの検索

アーカイブページは、VORTEXクラウドから保存されたビデオクリップにアクセスし、管理するための入り口です。

アーカイブのビデオクリップを検索するには3つの方法があります。

1. カメラと時間で検索

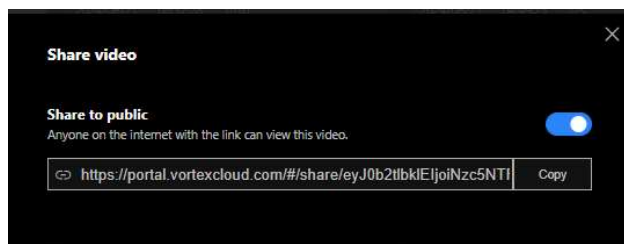
すべてのデバイス "ボタンをクリックしてカメラを選択し、時間枠を設定します。次に、「検索」ボタンをクリックします。



検索結果の例

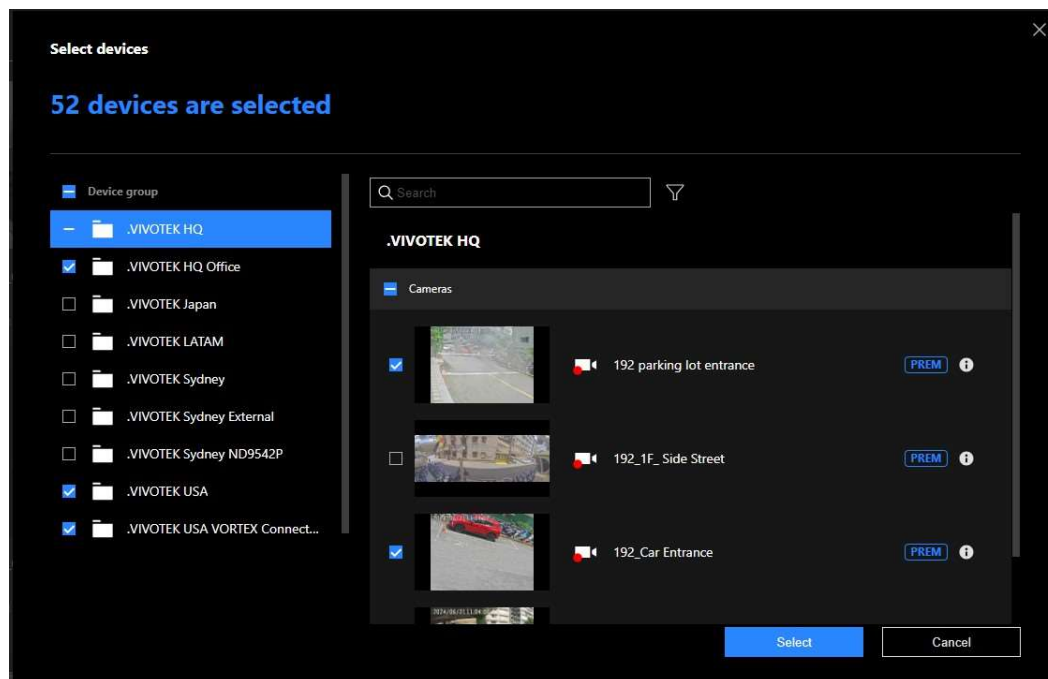
お探しのアーカイブ動画が見つかったら、動画セル内の「...」アイコンをクリックしてください。ウィンドウが表示され、アーカイブビデオのファイル名を編集したり、ビデオをコンピュータに直接ダウンロードしたり、ビデオを共有したり、削除したりすることができます。

例えば、動画を共有したい場合は、選択した動画のセルで「...」アイコン>「共有」をクリックします。すると、共有オプションをオンにして、リンクをコピーして他の人と共有できるウィンドウがポップアップ表示されます。



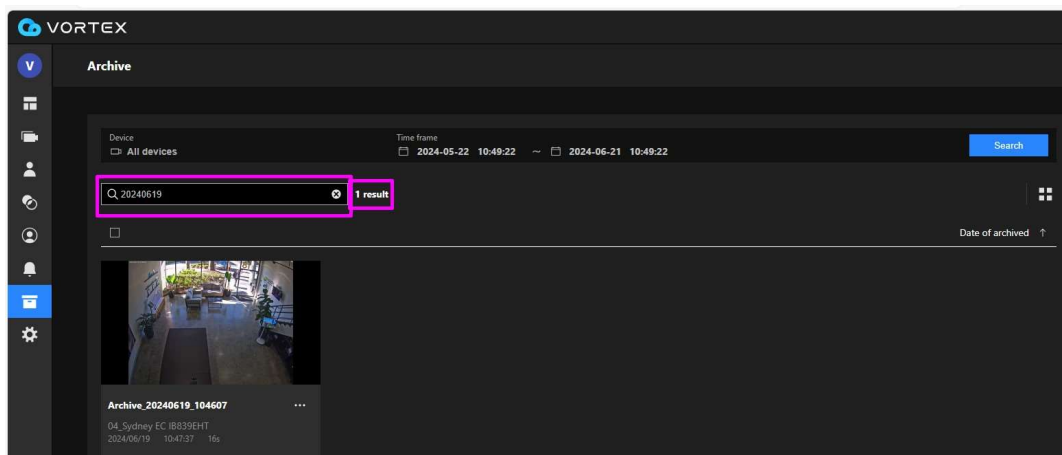
2. グループ内のカメラで検索

特定のカメラのアーカイブをお探しの場合は、まず左上のカメラボックスをクリックしてください。カメラセレクトが表示されます。ここから「グループ」をクリックすると、カメラ・グループのリストが表示されます。アーカイブを見たいカメラを選択します。

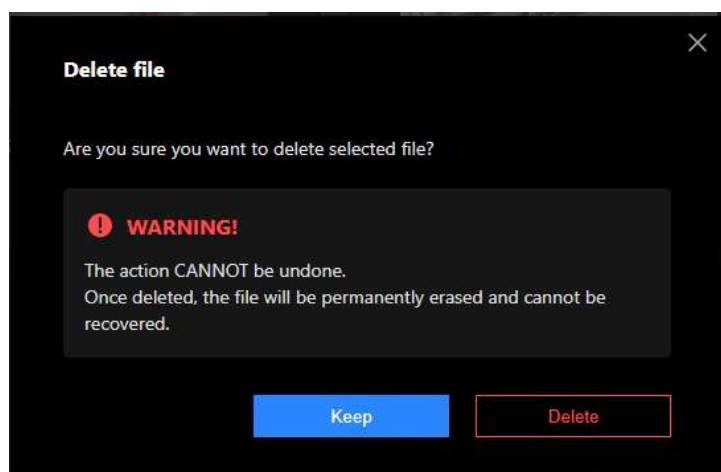
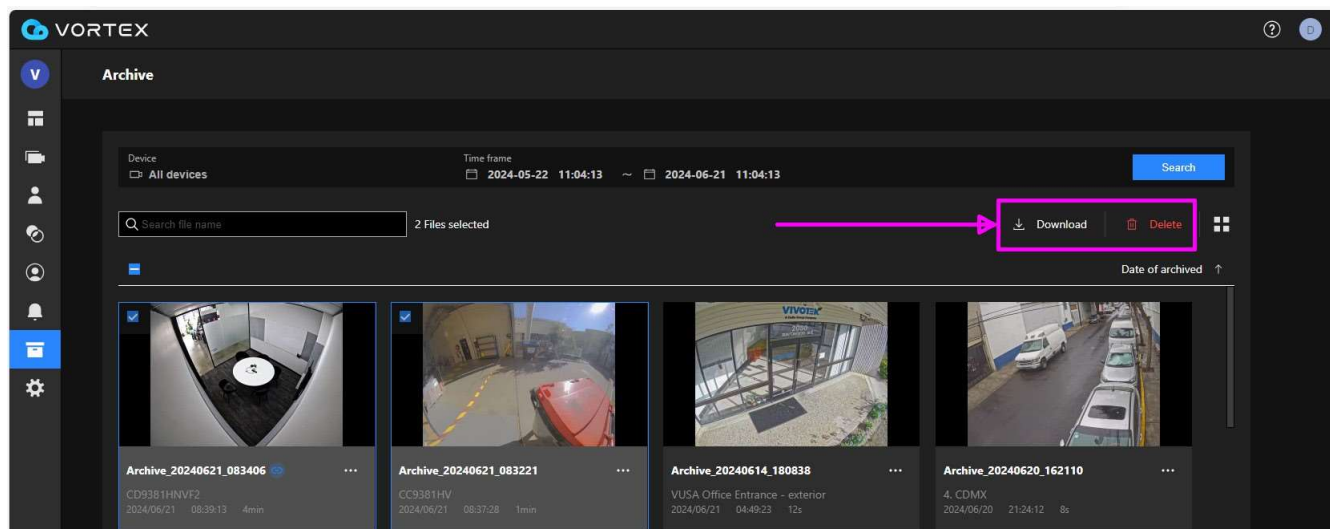


3. ビデオファイル名で検索

検索ボックスに、お探しのファイル名のキーワードを入力し、検索結果を絞り込みます。



さらに、検索結果で、1つ以上のビデオセルをクリックすると。「ダウンロード」と「削除」の2つのオプションが表示されます。必要に応じてビデオをダウンロードしたり、慎重にビデオを削除することができます。

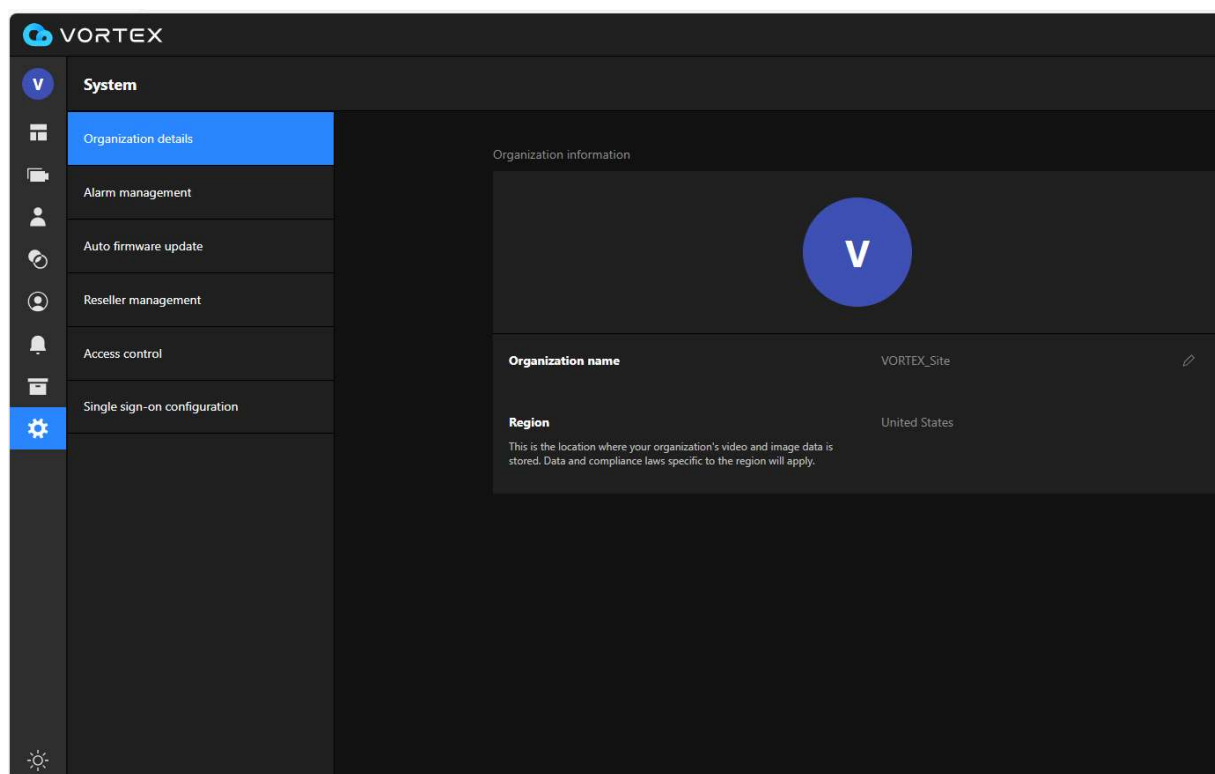


15 システム

このセクションでは、組織情報などのシステム関連の設定を管理できます。

15.1 組織詳細

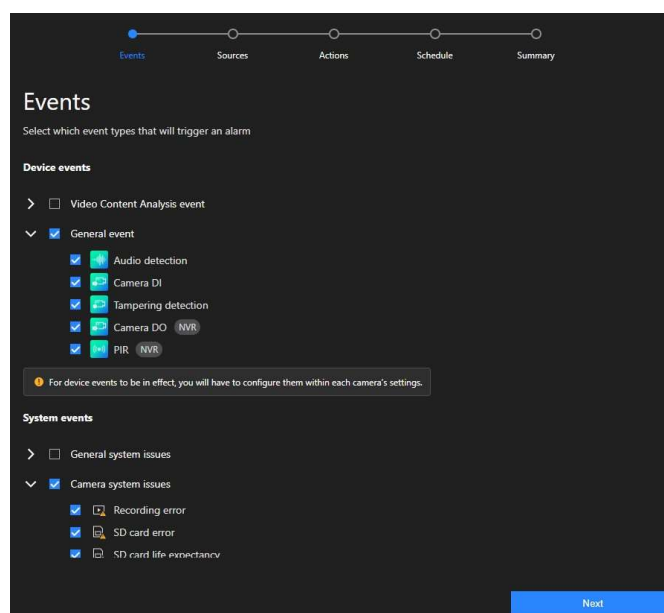
組織所有者、管理者、監督者の場合は、ここで組織名を変更できます。また、VORTEXの組織オーナーだけが他のユーザーに所有権を移譲でき、すべてのデバイスが削除されたときに組織を削除できます。



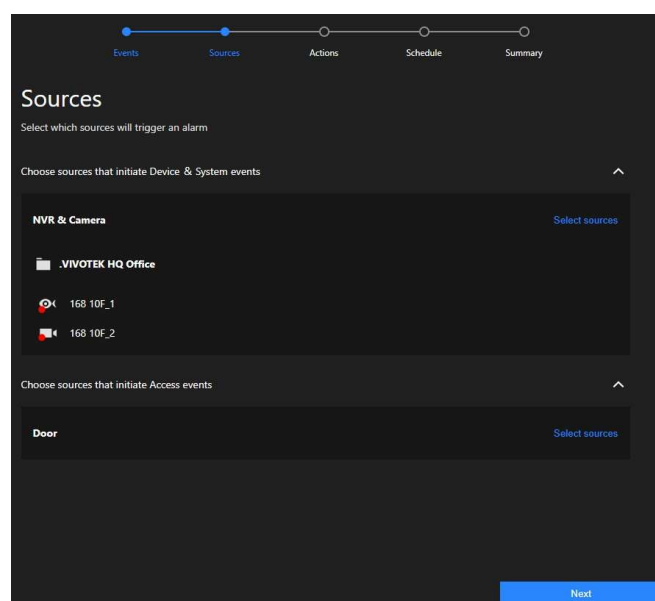
15.2 アラーム管理

オーナーまたは管理者であり、VCAイベントやデバイスのステータスなど特定のアクティビティを通知する必要がある場合は、「アラームを追加」ボタンをクリックし、次の5つのステップを設定してください。

1. 通知を受け取りたいイベントや問題を選択し、「次へ」をクリックしてください。



2. アラームをトリガーするソースを選択し、[NEXT] をクリックしてください。



3. アラームをトリガーするアクションを選択し、[次へ] をクリックします。

4. アラームがオンになっている時間帯を選択します。

5. 選択したすべての項目が正しいか確認してください。正しい場合は、「追加」をクリックしてください。

Summary

This is a brief summary of your alarm, you can also give your alarm a desirable name.

Alarm name

Alarm 68

Events

- Audio detection
- Camera DI
- Tampering detection
- Camera DO
- PIR
- Recording error
- SD card error
- SD card life expectancy

Sources

VIVOTEK HQ Office

Actions

Send email

Audio deterrent

Schedule

Day and time

Sun

Mon

Tue

Wed

Add

スライダー（ON/OFF）を動かして、アラームを有効にするかどうかを決めます。

VORTEX

System

- Organization details
- Alarm management**
- Auto firmware update
- Reseller management
- Access control
- Single sign-on configuration

Alarm management

Add alarm +

Search

Name	Events	Actions	Schedule	Created by
☒ Alarm 57	Intrusion detection, Loitering detection, Line crossing detec...	Notification	Custom	vivotek.com
☐ Alarm 59	Intrusion detection	Notification	Custom	@vivotek.c...
☐ Alarm 60	Intrusion detection, Line crossing detection	Notification	Custom	@vivotek.c...
☐ Alarm 61	Line crossing detection	Notification	Custom	@vivotek.c...
☐ Alarm 62	Intrusion detection	Notification	Custom	@vivotek.c...
☒ Alarm 63	Intrusion detection, Loitering detection, Line crossing detec...	Notification, Webhook	Always	otek.com
☒ Alarm 66	Intrusion detection, Loitering detection, Line crossing detec...	Notification, Email	Always	ole@vivot...
☒ Alarm 67	Audio detection, Tampering detection, Camera DO, PIR, Ca...	Email	Custom	@gmail.com
☒ Alarm 68	Audio detection, Camera DI, Tampering detection, Camera ...	Email, Audio deterrent	Custom	@gmail.com
☐ Alarma Demo Rosarito	Camera DI, Device offline, Loitering detection	Notification, Email	Always	@vi...

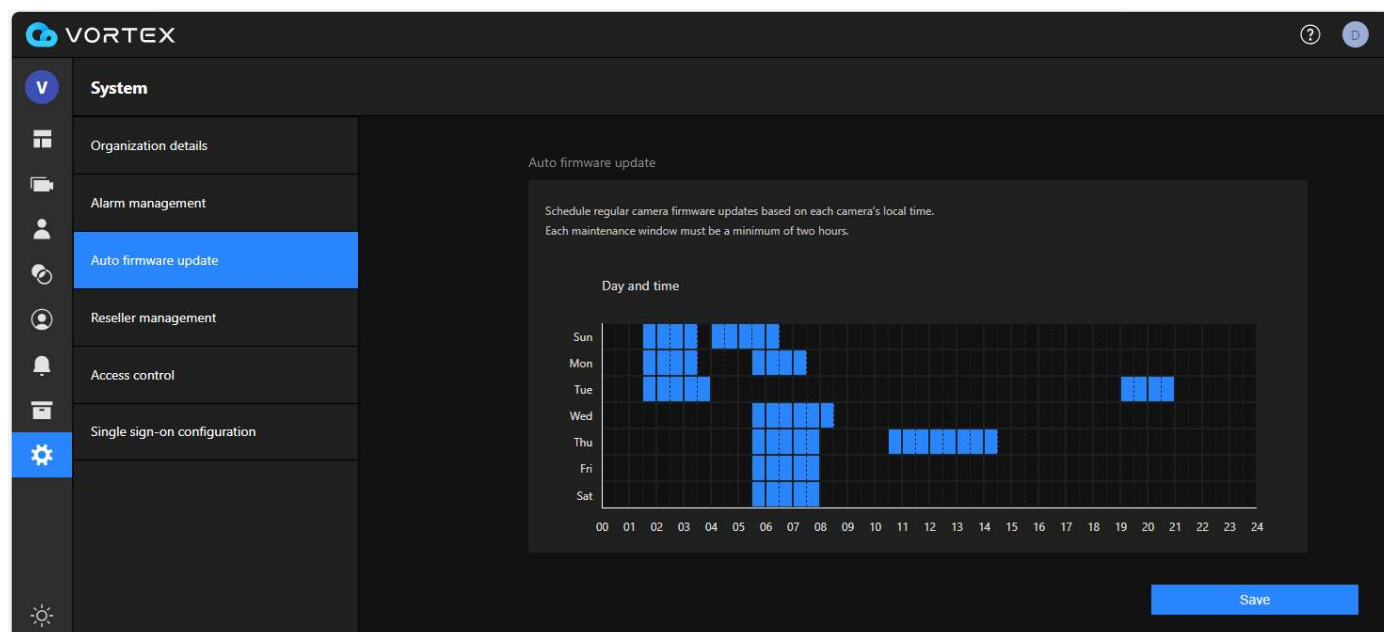
15.3 Audit log

管理画面での一部操作の履歴が確認出来ます。

イベントタイプ、Target、タイムスタンプ、ユーザー、接続元IPで条件を絞り込むことが出来、結果を出力することが出来ます。

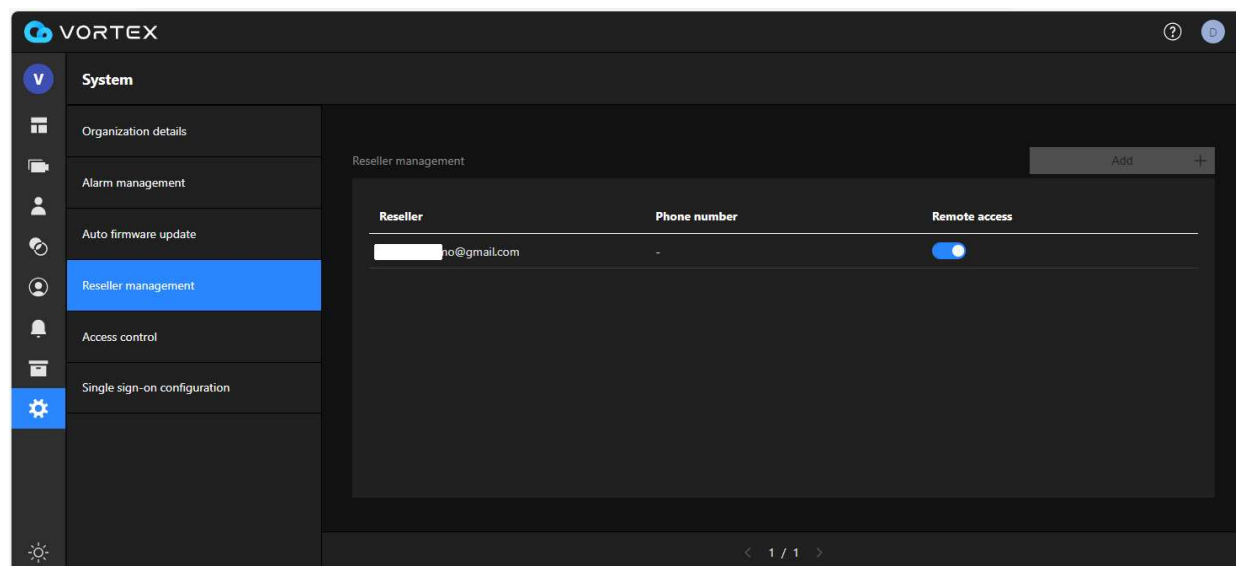
15.4 自動ファームウェア更新

VORTEXは、設定したスケジュールに基づいて、デバイスに定期的に自動でファームウェア更新をプッシュすることができます（更新セッションは最短で2時間ごとに設定可能）。



15.5 リセラー管理

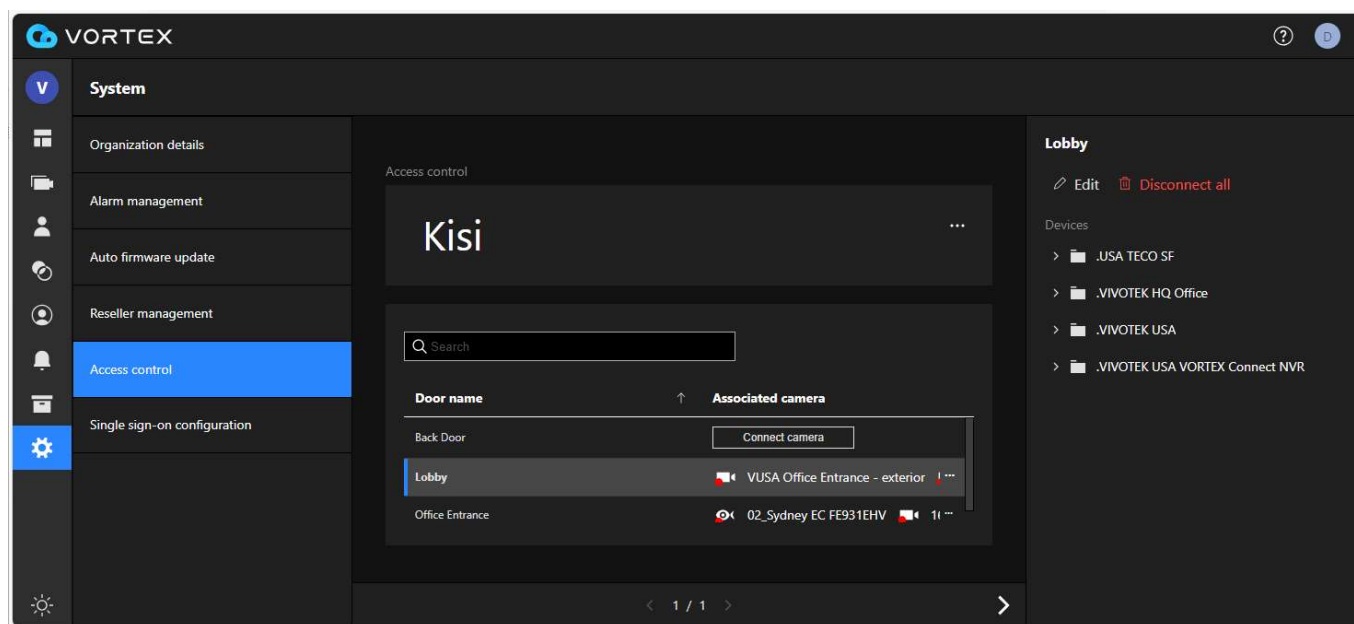
ここでサービスプロバイダーを追加し、リモートアクセスを許可するかどうかを決定できます。



15.6 アクセス制御

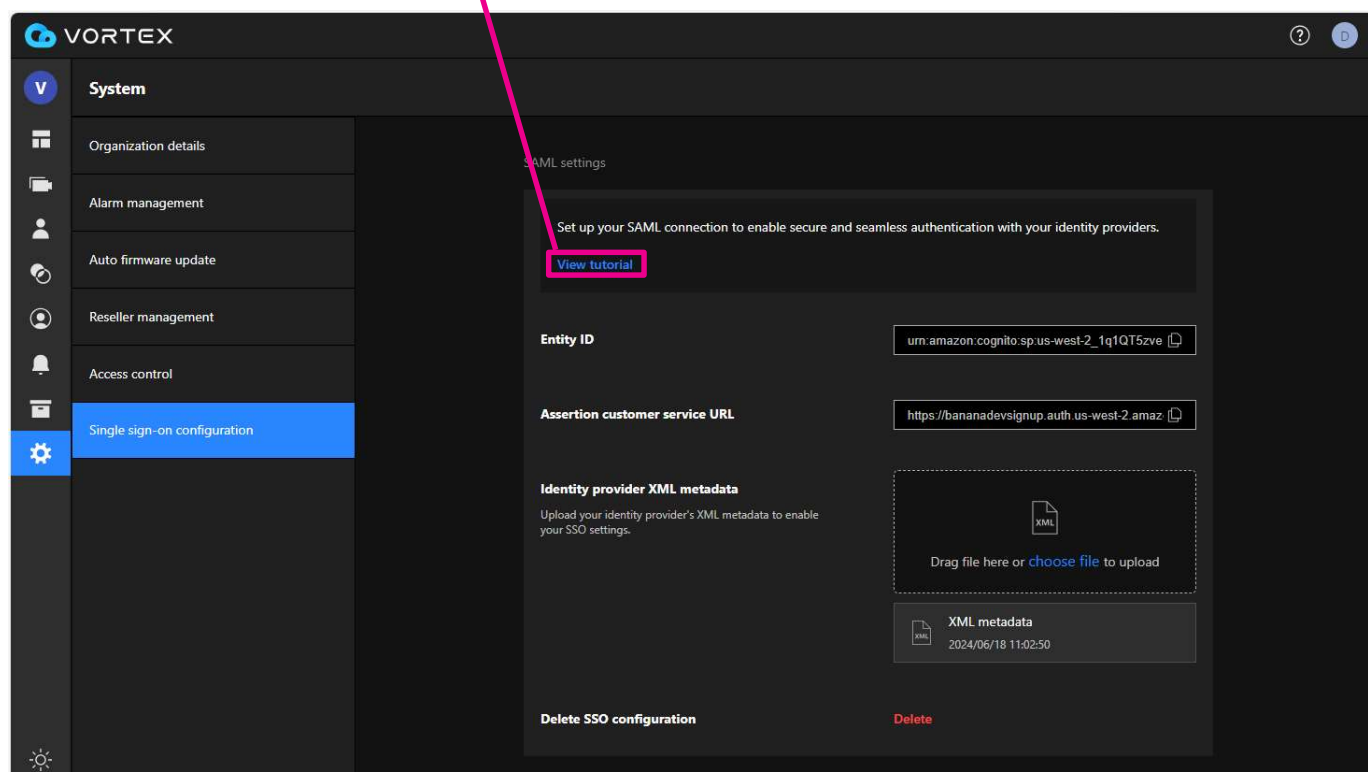
ここでは、VORTEXの所有者または管理者として、デバイスがKisiセキュリティシステムに接続する場所や接続の有無を決定できます（詳細は https://docs.kisi.io/dashboard/account/generate_api_key/ をご参照ください）。言い換えれば、あなたはデバイスがKisiセキュリティシステムと接続するかどうかを選択する必要があります。また、APIキーの生成方法や接続の設定に関しては、Kisiのドキュメントを参照しながら進めてください。：

1. Kisi のウェブサイト で Kisi API キーを生成し、コピーします。
2. VORTEX > システム > アクセス制御に進みます。
3. Kisi API キーを貼り付け、Add をクリックします。これで、Kisi デバイスを関連するカメラに接続できます。



15.7 Single sign-on configuration

シングルサインオン (SSO) は、ユーザーの本人確認を行い、さまざまなウェブサイトやセキュリティ制御がある場所で複数のユーザーID やパスワードを覚える必要がなくなることで、利便性を向上させるソリューションです。また、所有者、管理者、または再販業者は、アクセス制御の負担を軽減するためにこの機能を実行する必要があります。設定方法の詳細については、「チュートリアルを見る」をクリックしてください。



15.8 Organization security

この設定を有効にすると、組織内のすべてのユーザーに対して、ログイン時に MFA（多要素認証）の使用が求められるようになります。

なお、MFA は VORTEX アカウントのログインにのみ構成されているため、組織が SSO ログインを使用しており MFA を必要とする場合は、SSO プロバイダーに連絡して組織の MFA を有効にしてください。

16 ライセンス

デバイスライセンスとクラウドストレージライセンス

VORTEXカメラを最大限に活用し、関連するVORTEXサービスをすべて利用するには、VORTEXスタンダード・ライセンスが必要です。このライセンスを取得することで、カメラを有効化し、ユーザーエクスペリエンスを向上させるために設計されたさまざまなクラウドベースのサービスにアクセスできるようになります。

VORTEXスタンダード・ライセンスは、1年となります。

- 無制限のアーカイブ
- 30日間のローカルストレージ

さらに、VORTEXネットワークスピーカーを有効にするには、対応するネットワークスピーカーライセンスが必要です。現在は取り扱っておりませんが、今後取り扱いを検討しております。

セキュリティーカバーとデータ保持の強化を目指すユーザーには、クラウドストレージライセンスの追加を強くお勧めします。これは、クラウド上に安全に保存された包括的な録画バックアップを提供します。当社のクラウドストレージライセンスは、30日、60日、90日の期間で利用可能で、各期間は1年で提供されます。これにより、必要に応じてレビューやインシデント・リカバリーのためにデータに継続的にアクセスすることができます。

Type	Plan
Standard License	1年
Network Speaker License	現在はありません。
Cloud Storage License	30日/60日/90日、各期間は1年。

17 ライセンスが必要な機能

このセクションでは、VORTEXを使用する際にライセンス情報が必要となるアクセサリについて紹介します。

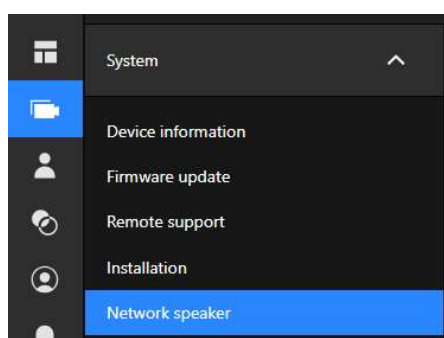
17.1 ネットワークスピーカー

AU-001ネットワークホーンスピーカーは、セキュリティシステムと統合するために設計された特殊な屋外用音響デバイスです。作動すると、侵入者を威嚇するために事前に録音された音声クリップを放送します。このネットワークスピーカーを使用して侵入者を威嚇することで、物理的に介入することによって発生する可能性のある対立を回避するのに役立ちます。

AU-001は、VORTEXプラットフォームに統合され、ユーザーの要件に応じて特定のトリガーを実行するように設定できます。ただし、ネットワークスピーカーライセンスを取得している必要があります。

17.1.1 デバイスの検索と設定

1. [デバイス]メニューからデバイスをクリックし、[ネットワークスピーカー]をクリックします。



2. Devicesメニューからデバイスをクリックし、Network speaker > Addをクリックします。

Add network speaker
Choose a network speaker to add. You can locate the MAC address of your device on the label attached to it or on the packaging.

Search

Model	MAC
☐ AU-001	00024663A70C
☐ AU-001	0002D1995794
☐ AU-001	0002D19957B8

3. ネットワークスピーカーを選択し、デフォルトのユーザー名/パスワード（admin/1234）を入力します。

Add network speaker
Provide a name for your device, as well as enter device user name and password for authorization purposes.

1. Provide a name for your device
Device name
Device 1

2. Authorize your device
Device user name
admin
Password
1234

4. ネットワークスピーカーをカメラに関連付けた後、オーディオクリップをアップロードし、音量を調整し、セキュリティを強化するためにパスワードを変更することができます。

Network speaker

Search

Device name	MAC	
Device 1	00024663A70C	

Speaker settings

Device name
Device 1

Speaker volume
Weak Low Medium High

Drag and drop audio here
Or select

File format: WAV(16Bit, 8KHz, Mono), Maximum file size: 384Kb

Change password

Save Cancel

5. ネットワークスピーカーの設定に成功すると、アラーム管理アクションメニューに「音声抑止」オプションが表示されます。ここから、侵入時にアラームを鳴らす関連ネットワークスピーカーを選択できます。

